

広報

くりやま

2025

4

VOL.1387



ようこそ、新しい春

表紙

第57回栗山中学校卒業式



令和7年度町政執行方針

次なるステージへ
栗山新時代の「躍進の時」

栗山町議会3月定例会議で佐々木学町長が町政執行方針を示しました。先人が築いた「ふるさと栗山」の未来を展望し、新年度を栗山新時代の「躍進の時」と位置づけ、町政執行に臨む決意を述べました。

新型コロナウイルス感染症が、5類感染症へと移行となり間もなく2年、ようやくまちにも、コロナ禍以前の賑わいと日常が戻ってきたことを実感できるようになりました。

一方で、昨年元日に発生した能登半島地震、また、8月には日向灘沖地震により初めて南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、全国各地で自然災害が頻発しております。

さらには、エネルギーや物価高騰により、依然として町民生活や地域経済に大きな影響が生じているなど、こうした危機やリスクに対する備えの重要性をあらためて再認識しているところであります。

さて、私が多くの町民の皆さん並びに議員の皆さんの力強いご支援を賜り、2期目の町政を担わせていただき、早や3年が経過しようとしてお

ります。就任時にお約束した「元気を結集し、笑顔が輝くまち」の実現を目指し、また、先送りのできない町政課題を解決すべく、これまでの間、一つひとつの取組を着実に推進してまいりました。

長年の懸案でありました栗山赤十字病院の建替に關しましては、いよいよ本年、新病院が開院する運びとなり、また、維持・存続が危惧されておりました栗山高等学校と北海道介護福祉学校に關しましても、新たな学生確保対策などにより、一時の危機的状況を脱しつつあるなど、それらの取組がようやく実を結ぼうとしております。

こうした中で、加速化する人口減少や少子高齢化への対応はもとより、小・中学校適正化の問題や南部地域の医療供給体制の確保、持続可能な除排雪体制の確立、減

便・廃線が続く地域公共交通の確保、さらには地域活力の維持に向けた企業誘致の推進など、新たな町政課題も山積してきております。令和7年度は、これまで進めてきた取組をしつかりと軌道に乗せ、また、山積する難題を解決すべく、その足掛かりとするための重要な1年となります。

これまで築き上げてきた「ふるさと栗山」を、次なるステージへとつないでいくため、10年後、20年後を見据えた未来志向のまちづくりを進めてまいります。

町政2期目の締めくくりとなる新年度の町政執行に当たり、「5つの基本目標」を掲げ、全力で町政を推進してまいります。

1 「賑わい躍動するまち」の推進

持続可能で活力ある地域経済を構築するためには、農工商各産業の体質強化とともに、地域特性を活かした新たな産業の創出など、経済を好循環させていく環境づくりが必要です。

その重点施策として、各産業を支える多様な担い手の育成・確保や生産性の高い栗山農業の確立、賑わいあふれる商店街の創出、トップセールスによる企業誘致の推進、栗山煉瓦創庫くりふとを拠点としたさらなる関係人口の創出などに取り組みます。

魅力ある地域資源を最大限に活かしながら、成長を加速させていく「賑わい躍動するまち」を築いていきます。

2 「心安らぐ暖かなまち」の推進

すべての町民が心身ともに健康やかで、生きがいを感じながら生活するためには、健康意識の高揚や医療供給体制の確保、地域包括ケアシステムの充実など、地域全体で支え合う仕組みづくりが必要です。

その重点施策として、生活習

4 「魅力をつなぐまち」の推進

栗山の恵まれた豊かな自然環境や貴重な伝統文化など、受け継がれてきたかけがえのない財産を守り、未来へと継承していくためには、その魅力を共有し、伝え広げていくことが必要です。

その重点施策として、ハサンベツ里山など自然環境の保全・再生、文化財や伝統文化、郷土芸能の保護・継承、若者・子育て世代の移住・定住の促進、地球温暖化対策やネイチャーポジティブ（自然再興）の推進などに取り組みます。

先人が守り育ててきた豊かな自然・歴史・文化を、未来につなげていく「魅力をつなぐまち」を築いていきます。

5 「みんなで創るまち」の推進

人口減少や少子高齢化など、社会情勢の急速な変化とともに、多様化する様々な地域課題に対応するためには、町民と行政との協働による、自立したまちづくりが必要です。

その重点施策として、地域防災力の強化、地域情報の発信拠

心豊かに暮らせる
ふるさとづくり

持続可能な循環共生型社会の実現に向けて、排出ごみの抑制や再生可能エネルギーの活用などによる環境負荷の低減、生態系と調和する豊かな自然環境を次代につなぐ取組を推進します。

また、地域防災力の強化を図るとともに、交通安全意識の高揚を図る活動や地域安全運動を推進し、町民の安全・安心な暮らしの確保に取り組みます。

◇ごみ処理

町民との協働による適正な分別により、減量化や再資源化を図ります。

また、昨年4月から変更となった、ごみの分別方法の周知徹底を図るなど、広域焼却処理事業を円滑に推進します。

◎今年の約束

▼ごみ分別の徹底、再資源化を推進します。

▼広域焼却処理事業を円滑に推進します。

▼ごみステーションの設置・修繕を支援します。

※1 栗山町経営改革推進計画
第7次栗山町総合計画で目指すまちづくりを推進するための指針。町の財政基盤を維持し、適正な職員数の確保や施設の維持、実施事業の選択、労働生産性の改善などを行い、住民サービスの質の向上を目指します



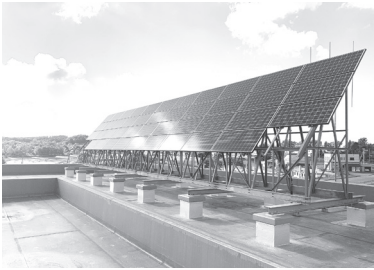
くりやまハーフマラソン

昨年は史上最多となる1,522人のランナーがエントリー。今年も第4回大会として開催を予定している。



栗山高校女子硬式野球部

栗山高校の魅力づくり活動の一環として始動した女子硬式野球部。創部3年目となる今年は、40人以上の部員数となる予定。



太陽光発電システムの設置

再生可能エネルギーの一つとして、注目されている太陽光発電。個人および事業者への設置費用の一部を補助を行う。

栗山町地域防災計画
(本 編)



栗山町地域防災計画

町の防災対策、災害対応など、町民の生命、財産などを災害から守るための具体的な事項を定めたものです。令和7年3月に修正。

▼生ごみ堆肥化容器などの購入を支援します。
▼塵芥収集車（2t車）を更新します。

◇環境・エネルギー

「栗山町地球温暖化対策実行計画」に基づき、カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガス排出抑制の取組を推進します。

また、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを目的とする「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の取組を進めるため、関係機関・団体と連携し、全町的な機運の醸成を図ります。

◎今年の約束

▼太陽光発電システム設置費を支援します。

▼カーボンニュートラルに取り組む事業者を支援します。

▼公共施設等の空調設備を整備します。

▼ネイチャーポジティブ実現に向けた取組を行います。

◇防災

「栗山町地域防災計画」に基づき、自主防災組織及び活動への支援や、関係機関・団体と連携した防災訓練を実施すると

ともに、女性の視点を活かした避難所運営など地域防災を担うリーダーの育成、「避難行動要支援者個別計画」の策定を進めるなど、全町的な防災体制を強化します。

また、緊急告知FMラジオや栗山町防災情報メールの普及促進など災害時の情報伝達手段の充実を図るとともに、災害用物資の計画的な確保を進めます。

◎今年の約束

▼地域防災を担うリーダーの育成を推進します。

▼自主防災組織の設置・活動を支援します。

▼関係機関・団体と連携した防災訓練を行います。

▼避難行動要支援者個別計画の策定を進めます。

▼緊急告知FMラジオや防災情報メールの普及促進を図ります。

◇消防・救急

町民の安全・安心の確保を最優先に、各種災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制の強化を図ります。

また、広報活動や火災予防査察の強化など、防火意識の高揚を図るとともに、さらなる救命

率の向上のため、救急救命講習の充実に努めます。

◎今年の約束

▼火災予防査察の強化を図ります。

▼広報車を更新します。

▼第3分団第1部庁舎サイレン塔の塗装を行います。

◇生活安全

警察署や交通安全協会をはじめ関係機関・団体と連携し、高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶、自転車の安全利用など、交通安全運動を推進するとともに、交通安全施設の整備を進めます。

また、防犯協会や暴力追放運動推進協議会をはじめ関係機関・団体と連携し、防犯カメラの設置やイベント時における巡回など、犯罪等の予防や非行防止の活動を推進します。

さらに、全国的に多発している「SNS型投資・ロマンス詐欺」をはじめとする特殊詐欺や悪質商法の被害防止に向け、消費者協会などと連携し、相談窓口や広報啓発活動の充実を図ります。

墓園・墓地については、快適な墓環境づくりを推進するとともに、合葬墓を含めた墓園

の整備について検討します。

◎今年の約束

▼自転車用ヘルメットの購入を支援します。

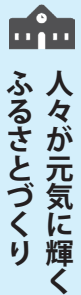
▼高齢者の運転免許証自主返納を支援します。

▼防犯カメラを栗山市街地に設置します。

▼南空知4町の広域消費生活相談を行います。

▼合葬墓を含めた墓園整備を検討します。

▼墓園入口の整備に向けた用地交渉を進めます。



子どもたちが、自分らしさを大切にしながら自己肯定感を持って、分かる喜び、学ぶ楽しさを実感するとともに、生涯にわたって学び続ける意欲を持てるよう、栗山らしい教育環境づくりを進めます。

◇学校教育

文部科学省が進める次期学習指導要領の目指す方向性を踏まえ、グローバルな視点でものごとを考え、自ら発信し実行できる子どもたちを育むため、「社会に開かれた教育課程」の充実を図ります。

▼自然体験プログラムを充実します。

◇スポーツ

スポーツ協会をはじめ関係団体と連携し、誰もが心身ともに健康に過ごすことができるよう、気軽にスポーツに取り組む機会の充実を図るとともに、体育施設の計画的な整備を推進します。

また、「第4回くりやまハーフマラソン」を開催し、スポーツを通じたまちの賑わいを創出します。

◎今年の約束

▼スポーツセンターのトレーニング機器を更新します。

▼第4回くりやまハーフマラソンを開催します。

◇芸術・文化

文化連盟をはじめ関係団体と連携し、町民が芸術・文化に親しむ環境づくりを進めるとともに、町民の自主的な文化活動や芸術家の活動、伝統文化の継承などを積極的に支援します。

また、新たな文化財の発掘を進めるとともに、貴重な文化財の保護・継承に取り組みます。

◎今年の約束

▼伝統文化・郷土芸能の継承や



新・商店街電子カード 「くりやまネイポジポ」

商店街地域カード（現・栗夢カード）のリニューアルを予定。買い物や行事への参加に応じてポイント付与の仕組みを検討している。



ファミリー・サポート ・センター事業

会員（保護者）からの要望を受け、一定の研修を受けた町内在住の提供会員が託児や送迎などの子育てサポートを行っている。

文化活動などを支援します。
▼札幌ひなまつりコンサートなど芸術文化鑑賞事業を支援します。

◆国際・地域間交流

まちの将来を担う子どもたちの豊かな感性や国際感覚を育むため、「少年ジェット希望の翼」や英語コミュニケーションスキル研修事業を実施するとともに、姉妹都市角田市との相互交流事業を継続し、郷土愛の醸成促進を図ります。

◎今年の約束

▼少年ジェット希望の翼事業を行います。
▼英語コミュニケーションスキル研修事業を行います。
▼角田市との子ども交流派遣事業および勤労青年研修受入事業を行います。

＋ 健康で生きがいを感じる ふるさとづくり

すべての町民が健康でいきいきと心豊かに暮らせるよう、医療・保健・福祉・介護サービスの一層の充実を図ります。

また、子どもたちが健やかで幸せに成長できる「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

◆保健

「第2期栗山町健康増進計画」に基づき、食生活の改善や運動習慣による生活習慣病の発症予防に取り組むとともに、各種検診による疾病の早期発見・早期治療により重症化の予防に向けた保健指導を充実します。

また、町民の主眼的な健康づくりを支援するとともに、地域や関係機関、企業と連携し、健康寿命延伸のまちづくりを実践します。

◎今年の約束

▼生活習慣病の重症化予防の取組を強化します。
▼自殺対策を支える人材養成研修会を行います。
▼町民チーム対抗ウォーキング事業を行います。
▼健康寿命延伸のまちづくり協働宣言の実施企業に情報提供や啓発活動を行います。

◆地域医療

栗山赤十字病院と連携し、新病院開院に向け、建替工事を推進するとともに、救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る支援を行います。

また、地域医療協議会と連携し、町民が住み慣れた地域で安

心して暮らせるよう、在宅医療体制の充実を図るとともに、南部地域における医療供給体制の確保に向けた検討を行うなど、それぞれの地域に必要な医療水準の維持に努めます。

◎今年の約束

▼栗山赤十字病院の建替工事を推進します。
▼南部地域の医療供給体制の確保に向けた検討を行います。
▼救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る栗山赤十字病院への支援を行います。
▼訪問看護の充実・オンライン診療導入に向け協議を行います。
▼産婦人科・小児科オンライン相談を行います。

◆児童福祉

「第3期栗山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない、子育てのニーズに沿った支援を行うなど、誰もが安心して出産・子育てができる環境づくりを進めます。

また、母子に対する心身のケアや育児サポートなど、産後ケア事業の充実を図り、安心して子育てができるよう支援します。

活動と賑わいあふれる ふるさとづくり

基幹産業である農業をはじめ、商業、工業の基盤を強化するとともに、担い手の育成や雇用の場の確保による地域産業の活性化を促進します。

また、まちの賑わいと関係人口の創出に向け、観光・交流産業の充実を図ります。

◆農林業

「第5期栗山農業ルネッサンス」に基づき、関係機関・団体と連携し、農業後継者の育成や新規就農者の受入など、地域農業を担う人材の確保に取り組みます。

また、担い手への農地の集積や農業生産基盤整備、新技術の導入などにより生産性の高い農業を推進し、安全・安心で良質な農産物の生産を促進します。

さらに、「栗山町森林整備計画」に基づき、南空知森林組合をはじめ関係機関・団体、企業と連携し、適正な森林整備を進めるとともに、森林環境譲与税を有効に活用し、森林が有する多面的機能の維持増進を図ります。

さらに、子ども発達サポートセンターを中心に、心身に障がいや発達に遅れがある子どもの早期発見や早期療育への取組を進めます。

◎今年の約束

▼助産師による産後ケア事業を充実します。
▼新生児世帯に子育て応援券を配付します。
▼放課後児童クラブに児童の入退室管理システムを導入します。
▼ファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。
▼支援が必要な家庭やヤングケアラーへの適切な支援を行います。
▼子ども家庭センター設置に向けた検討を行います。
▼子ども・子育て条例の制定に向けた検討を行います。
▼障がい児の通所費用等を助成します。
▼病児・病後児保育事業の実施方法について検討を行います。
▼育児休業等奨励金制度の創設に向けた検討を行います。

◆高齢者福祉

「第9期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に

基づき、総合的な相談支援や介護予防事業を行うとともに、保健・医療・福祉・介護に携わる関係機関などと連携し、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を行う地域包括ケアシステムを推進します。

また、北海道介護福祉学校と連携し、介護人材の育成・確保に向けた支援に取り組めます。

◎今年の約束

▼重度化予防に向け、介護予防事業の充実を図ります。
▼配食サービス事業を行います。
▼除雪サービス事業を行います。
▼介護人材の育成・確保に係る支援を行います。

◆地域福祉

誰もが生きがいを持った日常生活を送られるよう、地域や民生委員・児童委員、社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し、地域社会全体で見守り、支え合う活動を支援します。

また、「第2期栗山町ケアラー支援推進計画」に基づき、すべてのケアラーが孤立することなく、安心して介護や看護ができる地域づくりを推進します。

強化し、ラビダス関連企業をはじめとした企業の進出動向など、引き続き情報収集に努めながら、積極的な企業誘致活動を展開します。

◎今年の約束

▼空き店舗・空き地の活用を支援します。
▼商店街地域カードの電子化に向けた取組を支援します。
▼地方進出を目指す企業の意向調査を実施します。
▼積極的な企業誘致活動を展開します。
▼第5期工業団地内の道路整備を行います。

◆観光・交流

新たに策定した「栗山町観光振興計画」に基づき、オープン3年目を迎える栗山煉瓦創庫くりふとを拠点に、観光窓口の充実や観光情報を積極的に発信し、さらなる関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

また、移住コーディネーターを中心に、効果的な情報発信やニーズに応じたきめ細やかな相談対応を行うとともに、UIJターンの促進やクリエイターの定着に向けた各種支援制度の実施など、移住・定住の

取組を推進します。

○今年の約束

▼関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

▼ウェブサイトを活用した観光情報発信を行います。

▼U・I・J・ターン移住支援を行います。

▼U・I・ターン等促進奨学金返済助成を行います。

▼クリエイター移住支援事業を行います。

◇雇用環境

ハローワークをはじめ関係機関・団体と連携し、就業希望者への適切な情報提供など、雇用の促進を図ります。

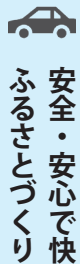
また、従業者の資格取得支援制度により、町内事業者の人材育成や生産性向上の取組を支援します。

さらに、南空知通年雇用促進協議会と連携し、季節労働者の通年雇用化を図ります。

○今年の約束

▼従業者の資格取得支援制度を推進します。

▼季節労働者の資格取得を支援します。



安全・安心で快適な
ふるさとづくり

大師山周辺整備や、馬追橋架換え工事に併せた錦地区の魅力ある街並みづくりなど、将来を見据えた市街地形成を検討します。

また、「栗山町公園施設長寿命化計画」に基づき、栗山公園施設の更新など、安全・安心で魅力ある都市公園づくりを推進します。

○今年の約束

▼日出生生活館の建替に係る実設計を行います。

▼御大師山周辺整備、錦地区街並み整備の検討を進めます。

▼栗山公園や児童公園施設などを更新します。



みんなの絆で支え合う
ふるさとづくり

人口減少や少子高齢化など、社会情勢が大きく変化する中、地域課題を的確に捉え、町民と行政が相互に連携・協力しながら、自助・共助・公助の視点に立った、持続可能なまちづくりを展開します。

◇コミュニティ活動

町民の創意工夫による多様な地域活動を積極的に支援するなど、個性豊かで活力ある地域づくりを推進します。

誰もが快適で住みやすい安全・安心なまちづくりに向け、

道路環境や住環境の確保に向けた、都市基盤づくりを進めます。

また、住民生活に欠かすことのできない上・下水道など、ライフラインの維持・確保を図ります。

◇道路・交通

快適で安全な道路環境を確保するため、道路改良や橋梁補修など計画的な道路網の整備を進めるとともに、冬期間における道路交通網を確保するため、効率的かつ効果的な除排雪事業を推進します。

また、国・道が管理する道路の整備促進について、官民一体となり、引き続き関係機関への要請活動を行います。

さらに、町民生活を支える地域公共交通については、沿線自治体や関係機関・団体と連携し、民間バス路線やJ・R室蘭線の維持・利用促進に向けた取組を推進するとともに、町営バスの運行体系の見直しや、近隣自治体との相互協力による運行手段の検討など、持続可能な交通ネットワーク体系を構築

します。

○今年の約束

▼継立南学田線、旭台第3支線などの道路整備を行います。

▼朝日橋、山の手橋を補修します。

▼除排雪事業在り方検討会議の協議を進めます。

▼国道234号整備促進期成会による要望活動を行います。

▼新町通街路および夕張長沼線等の整備促進を要望します。

▼町営バスの運行見直しに向けた検討を進めます。

▼路線バス乗務員確保に向けた支援を行います。

◇住宅・住環境

「栗山町住生活基本計画」及び「栗山町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の建替や修繕を計画的に進めるなど、安全で快適な住環境の整備を図ります。また、管理不全な空き家への指導や解体の支援など、安全・安心に暮らせる生活環境の充実を図ります。

さらに、若者・子育て世代の移住者に対する住宅取得支援を継続するとともに、空き家の利活用促進に向けた情報提供や相談体制の充実など定住し

やすい環境づくりを推進します。

○今年の約束

▼中里団地を建て替えます。

▼危険な特定空家等の対策に取り組みます。

▼人にやさしい住宅助成事業を行います。

▼若者・子育て世代の移住者への住宅取得を支援します。

▼空き家利活用促進支援を行います。

◇上・下水道

「栗山町水道ビジョン・アセットマネジメント」に基づき、老朽管など水道施設の計画的な更新を進めるなど、良質で安全な水道水を安定的に供給します。

また、「栗山町公共下水道ストックマネジメント」に基づき、下水道施設の計画的な更新を進めるとともに、中長期的な視点に立った事業経営の安定化を図ります。

さらに、個別排水処理施設事業を推進し、生活排水処理環境の改善を図ります。

○今年の約束

▼老朽水道管などを計画的に更新します。

▼栗山町水道事業経営戦略を改定します。

▼有機フッ素化合物など水道の水質検査を継続して実施します。

▼下水道施設の機器などを計画的に更新します。

▼個別排水処理施設の新規設置を促進します。

◇河川

全国的に相次ぐ自然災害の状況を踏まえ、災害発生時に備える堆積土砂の撤去や樹木の伐採など、適正な維持管理を行います。

また、道と連携した「雨煙別川かわまちづくり計画」を推進し、良質な河川空間を創出します。

○今年の約束

▼杵臼川、長谷川の沢川などを浚渫します。

▼雨煙別川かわまちづくり計画を推進します。

◇街なみ・景観

日出生生活館の建替など、南部地域の振興を図るとともに、スキー場跡地の活用を含めた御

ると思いますが、栗山には試練の時代に立ち向かい、未来を切り開く風土と伝統があります。

そして、私たちには、幾多の困難に立ち向かってきた先人のたゆまぬ努力と確固たる意志を、しっかりと受け継ぎ、未来へと継承していく責任があります。

まちづくりは挑戦の連続であります。多くの課題を抱えているからこそ、果敢に挑戦を続けることが重要であり、それによって確かな未来、新たな時代につながっていくものと確信しております。

次なるステージへとつなぐ新年度を、栗山新時代の「躍進の時」と位置づけ、「元気を結集し、笑顔が輝くまち」実現のため、確固たる信念をもって、町政運営に邁進する決意であります。

町民の皆さん、議員の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、令和7年度の町政執行方針といたします。



地方創生の取組が開始されてから10年を経て、昨年発足した石破内閣では、「地方こそ成長の主役」として、これを再起動させるとの方針を示しました。

当面は総人口や生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済が成長し、社会を機能させるための適応策を講じていくこととされており

本町の将来人口推計では、10年後に老年人口が生産年齢人口を上回り、また、20年後には総人口が現在の半分程度までに減少すると見込まれており、将来的にまちの機能が維持できるのか、そうした危機感を抱く声も多く聞かれます。

今後においても、様々な厳しい局面が待ち受けてい



小・中学校適正配置計画

学校規模の適正化や小中一貫教育の推進など中長期的な見通しを示した計画。今年度には学校再編に向けた準備委員会が設置予定です。



ヤングケアラー出前講座

町内の児童・生徒を対象にヤングケアラーについて知り、困ったときの発信方法や自分たちにできることを考えます。

令和7年度 教育行政執行方針

栗山町議会3月定例会議で、吉田政和教育長が教育行政執行方針を示しましたので、その内容をお知らせします。

2025
Kuriyama Town
Board of
Education



世界中を震撼させた、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって社会は大きく変化しました。世界では、多極化およびグローバル化の動きが進む一方、地球規模での環境問題が深刻化するとともに、国際情勢の不安定な状況が顕著化しております。

我が国においても、少子高齢化や人口減少が加速する中で、超スマート社会の実現に向けた技術革新、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進や、共生社会の実現を目指した社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の推進などが求められております。

これらのことは、教育環境にも大きな変化をもたらしており、今まで予測し得なかった新たな教育課題に対して、適正に対応できるよう、先を見据えながら組織的、計画的に取り組んでいく必要があります。

栗山町教育委員会といたしましては、「ふるさととは栗山です」というまちづくりの合言葉を受け、「過去に学び、現在を生き抜き、夢と志をもつて歩む栗山の子」を教育

また、子どもの発達や学びの連続性を高めるために子ども園や保育園などの幼児教育施設間の横の連携と小学校との縦の連携を強化し、小学校へ円滑に接続できる仕組みを構築します。

多様な子どもに対する支援の充実も自己肯定感を実感できる教育を推進します

学校は、子どもたちが安心して楽しく通える魅力的な環境であることに加え、福祉的な役割や子どもたちの居場所としての機能を担うことが、従前にも増して求められています。

そのためには、子どもたちを取り巻く環境に正対し、発達状況や特性、家庭の事情、病気や障がいの状態など、個別の教育的ニーズを的確に把握するとともに、困り感の軽減・排除や日常生活での役割を自覚し実行させるなどの取組を通じて、一人ひとりの存在感や有用感を高めていくことが肝要です。

教育委員会では、福祉課等との緊密な連携の下、障がいのある子どもの自立や社会参

目標に掲げました。幼児・児童・生徒が、感性や道徳心、知性、体力を育み、心身共に逞しく成長することを願い、育てたい子ども像として「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」、「地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間」、「自ら学び、考え、行動する個性と創造性豊かな人間」の3点を掲げ、積極的に教育行政を推進してまいります。

学校教育

教育政策の根幹として位置付けられている学習指導要領に基づき、特に重視する基本方針として6点申し上げます。

「徳」「知」「体」の教育内容の充実も夢と志をもつて歩む人を育成します

いわゆる「VUCA（ブー

加を支援する特別支援教育の推進、ヤングケアラーへの支援体制など、より実効性のある組織体制の構築を図り、誰一人取り残すことのない教育の具現に努めます。

また、国際化・グローバル化が進展する中で、子どもたち自身が多文化共生社会の一員として、相互に理解を深めていくことも必要です。様々な文化的背景をもつ一人ひとりの子どもが、自分と他者との関係を肯定的に認め合うことで「自己肯定感」を感じられるよう、様々な取組を進めます。

教育環境の整備も新たな時代に合った学校をつくりまします

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の経験を経て、学校は学習機会と学力を保障する役割だけでなく、子どもたちに安全・安心な居場所を提供するとともに、子どもたちの社会性や人間性を育む役割があることが再認識されました。

将来の予測が困難な時代に対応していくため、こうした視点を踏まえつつ、教育DX

「力」時代」といわれる「変動性・不確実性・複雑性・曖昧性」が混在し、先行き不透明で予測困難な今日の社会情勢において、子どもたちが自分らしさを発揮しつつ、豊かで幸せな人生を切り拓くとともに、社会の一員としてその持続的な発展を担い、実現していく資質や能力を培うため、教育の果たす役割はますます大きくなっています。

このことを踏まえ、「徳育」では、相互に多様性を認め、高め合い、子どもたちの可能性を最大限に引き出す共生社会の実現に向け、まちの豊かな素材を取り入れた体験学習や集団活動を通して、他者への思いやりや自己肯定感、人間関係を築く力、社会性を育みます。

また、「知育」では、特にICTを最大限に活用した学習活動を展開する中で、子どもの主体的な学びの深化・充実を図り、これまでに以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進します。さらに、「体育」では、全国的な調査内容を活用しつつ、運動や体力づくり、自らの健康に関する意識を深める

の推進や義務教育学校の導入を視野に入れた調査など、新たな時代の学びを支える、安全・安心で快適な教育環境の整備を進めます。併せて、家庭や地域との連携・協力の下、子どもたちが安全に安心して学校に通うことができるよう、危機管理体制を強化します。

また、教職員がしっかりと子どもたちと向き合う時間を確保し、子どもたちの学びを最大限に引き出すことができるよう、学校における働き方改革をより一層推進します。

さらに、小・中学校適正配置計画に基づき、学校再編の準備委員会を立ち上げ、統廃合等に関する具体的な内容を協議、検討します。

学校と家庭・地域との連携も家庭と地域の教育力の向上と活用を図り、子どもたちの育ちを支援し見守ります

子どもたちの基本的な生活習慣、豊かな心、倫理観、社会的なマナーなどの基礎を育むためには、学校と家庭・地域とが子育てや教育について理解を深め合い、一体となつ

機会を充実させるとともに、子どもたちが生涯を通じて健康でたくましく生きていくための力を育む教育を推進します。

就学前教育の充実も生涯にわたる人格形成の基礎を培い、就学前の子どもを小学校に円滑に接続させます

幼児期における教育は、子どもの心身の発達と健やかな成長を促すとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために非常に大切な役割を果たしています。一方、近年は共働き世帯の増加等に伴う保育需要の多様性や複雑化など、保護者のニーズや行政サービスが大きく変化し、子どもたちを取り巻く環境の変化も進んでいます。

今後は、子どものより良い育ちを促進していくために、幼児教育に携わる各機関が相互に連携し、子ども園や保育園に通う子ども、家庭で過ごす子どもなど、就学前の環境が異なっても、すべての子どもが同等に、より質の高い幼児教育を受け、健やかに成長できる環境整備に努めます。

子どもを育て、見守るための取組を進めていくことが重要です。

一方で、地域と家庭とのつながりの希薄化など、家庭教育を支える環境や、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。保護者同士や保護者と地域との連携に加え、子どもたちが学校や家庭だけではなく、地域や多様な主体とつながる機会の創出など、地域全体で多様な教育活動を展開していく必要があります。

子どもたちが安心して地域で学び、育つことができる環境をつくるために、学校や家庭、地域、社会がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子育てや教育活動に取り組む体制を確立していきます。

栗山高等学校の維持・存続に向けた支援強化と魅力化ビジョンの充実

生徒の資質向上と希望進路に対応する各種支援制度を充実し、定員確保と募集2間口維持を実現します。

また、栗山高等学校の「魅



「栗山と福祉」の授業

令和5年より栗山高校の授業カリキュラムに新設された学校設定科目。介護福祉学校と連携し、福祉に関する教養と知識を深めます。



北海道介護福祉学校 公開講座

介護福祉学生が日頃から学んでいる授業を広く地域の方へ公開し、町民皆さんとともに学びを深める機会を提供します。



英語コミュニケーション スキル研修

平成30年より福島県川俣町と合同で実施。会話やリスニングなど、授業はすべて英語で行われ、最終日には「自身の夢」を英語で発表します。



高齢者大学 いきいきスクール

60歳以上を対象に、年間でさまざまな講座やバス研修を行います。体と心の健康・社会参加などを目的に毎年実施しています。

「北海道介護福祉学校中期経営戦略」に基づき、戦略性

戦略的學校経営に よる経営基盤の確立

「北海道介護福祉学校中期経営戦略」に基づき、戦略性

修・改修を行い、社会体育施設および社会教育施設の適正な維持管理に努めます。

北海道介護福祉学校

すべての「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年を迎え、介護人材等の需要がますます高まる一方で、社会経済情勢等の変化により、介護人材の確保はさらに厳しさを増しています。

社会教育

社会情勢の変化や教育において多様化する課題を踏まえ、すべての町民が、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、学校、家庭、地域など様々な場で自主的に学び、活動することが

力化ビジョン」の実現に向けて、介護福祉学校との連携による高専一貫教育プログラムのPDCAサイクルを確立するとともに、女子硬式野球部の活動支援など、魅力ある高校、選ばれる学校づくりを推進します。

生涯教育の推進

ます。

町民一人ひとりが生涯にわたって生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、趣味や教養などを高める町民講座などの学習機会の提供、高齢者大学「いきいきスクール」の実施など、自主的に学べる環境づくりを推進します。

また、「くりやまキッズクラブ」などを通じた自然・社会体験を充実させ、栗山町青少年育成事業を支援するなど、青少年の体験活動の機会を提供します。

さらに、図書館のコミュニティスペースを活用し、誰もが気軽に図書館を利用できる環境整備を図るとともに、豊かな心づくりを目指し、町民の読書活動を支援します。

自然体験教育の推進

「栗山町自然教育中長期計画」に基づき、関係団体の活動を支援するとともに、自然体験プログラムの充実を図り、町内児童生徒の体験学習

を持つて学校経営に取り組み、持続的経営基盤の確立を目指します。

最重要課題である学生確保については、これまでの取組の効果が表れ始めていることから、引き続き、様々な角度から対策を進め、定員充足率向上を図るとともに、特色ある教育カリキュラムのもと、確かな知識・技術の習得と国家試験合格率100%を目指し、介護福祉分野における先進事例を基に様々な地域課題の基礎的な理解力を身に付け、幅広い視野と思考を持つた介護福祉士を養成します。

さらに、「地域の介護人材は地域と栗山町で育てる」をテーマとする「介護人材の確保に関する自治体包括連携」は、現時点で20自治体と協定を締結したところであり、引き続き「町立の専門学校」という特性を最大限に活かし、自治体をはじめ社会福祉法人などとの連携を推進します。

本校の教育機能の有効活用と 地域に開かれた学校づくり

学生が主体的に取り組む「地域活動研究」の調査・研究過程における様々な町民と

支援など、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスを拠点とした、本町独自の「ふるさと自然体験教育」を推進します。

また、オオムラサキ館の管理運営など、国蝶オオムラサキの生態を公開するとともに、人と自然との共生を推進します。

スポーツの推進

生涯を通してスポーツに親しみ、健康に過ごすことができるよう、スポーツ協会、スポーツ少年団本部の活動を支援するとともに、各種スポーツ事業を通し、スポーツの普及・振興に努めます。

また、まちの賑わいと活力を創出するため、官民一体となり、「第4回くりやまハーフラソン」を開催します。

芸術・文化活動の支援 と文化財の保存・活用 及び郷土芸能の継承活動の推進

演劇・芸術鑑賞事業の実施など、芸術・文化に親しむことのできる環境づくりを推進するとともに、文化連盟など

栗山高等学校との連携による 高専一貫教育プログラムの開発・実証事業の着実な推進

また、小中学校における福祉教育を支援し、将来の介護人材確保につながる取組や、介護事業所等との連携による介護職員初任者研修を充実し、町内の介護人材確保に貢献します。

地域で活躍する人材養成に資する教育プログラムの開発と実践を進める栗山高等学校の学校設定科目「栗山と福祉」は、その教育効果が表れてきているところであり、また、本年度より全学年が履修対象となることから、同校との、より一層の連携、協力を図り、高・専5年間にわたる継続的な学びを推進します。

国際・地域間交流の 推進

将来を担う子どもたちに豊かな感性や国際感覚を身に付けさせるため、海外の生活や文化に直接触れることができる海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」を継続するとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、福島県川俣町の子どもたちとの交流を含めた、英語コミュニケーションスキル研修を継続します。

また、姉妹都市である宮城県角田市への子どもも交歓派遣や勤労青年受入事業を推進し、郷土愛の醸成促進を図ります。

長寿命化を図る施設 の計画的改修

第7次総合計画および個別施設計画に基づく計画的な補



これからの社会を展望したとき、町民一人ひとりが生き生きと学び続けるために、教育は極めて重要な役割を有しております。

栗山町教育委員会といたしましては、教育の大きな柱である学校教育と社会教育、介護福祉学校が、分野横断的に相互の連携を深め、町民が分かる喜び、学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたって学び続ける意欲を持てるよう本町教育の発展に取り組んでまいります。

町民の皆様、議員の皆様、並びに関係機関・団体の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。令和7年度教育行政執行方針といたします。

議会の動き

歳入歳出の総額の増減なしとし、歳入歳出の総額をそれぞれ3090万円とするもので、主な内容は住宅団地草刈業務委託料の減額などに係る補正です。

令和6年度栗山町工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算から、308万9千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ3108万1千円とするもので、主な内容は長期償還利子の減額などに係る補正です。

令和6年度栗山町水道事業会計補正予算（第4号）

資本的収入及び支出において、資本的収入で515万円を減額し、総額を1億8313万6千円とし、資本的支出で1782万円を減額し、総額を2億9330万円とする補正です。

令和6年度栗山町一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算に、2億8687万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ112億8604万1千円とするもので、主な内容はくりやま暮らし応援券発行事業などに係る補正です。

令和6年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算に、113万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億9511万2千円とするもので、主な内容は療養費の追加などに係る補正です。

令和6年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算に、90万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億1383万3千円とするもので、主な内容は職員手当の追加などに係る補正

議会の動き

栗山町議会では、次の議案が審議されました。

1月臨時会議 議案

令和6年度栗山町一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算に、2億8687万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ112億8604万1千円とするもので、主な内容はくりやま暮らし応援券発行事業などに係る補正です。

令和6年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算に、113万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億9511万2千円とするもので、主な内容は療養費の追加などに係る補正です。

令和6年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算に、90万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億1383万3千円とするもので、主な内容は職員手当の追加などに係る補正

とし、下水道事業費用で66万9千円を減額し、総額を4億9410万6千円とする補正です。資本的収入及び支出において、資本的収入の下水道事業費資本的収入で1億2588万7千円を減額し、総額を2億1635万1千円とし、個別排水処理施設事業資本的収入で、68万3千円を追加し、総額を2127万円とし、また、下水道事業資本的支出で1億2419万円を減額し、総額を3億7644万9千円とする補正です。

令和6年度栗山町一般会計補正予算（第11号）

歳入歳出予算に、11億円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ123億7395万5千円とするもので、主な内容は栗山赤十字病院改築等事業費の追加に係る補正です。

令和7年度栗山町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算から、9億円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ104億9000万円とするもの

です。

令和6年度栗山町介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算に、36万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ15億3277万8千円とするもので、主な内容は職員手当の追加などに係る補正です。

令和6年度栗山町水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入及び支出において、収益的支出の水道事業費用で275万円を追加し、総額を3億8026万5千円とする補正です。

令和6年度栗山町下水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入及び支出において、収益的支出の下水道事業費用で38万5千円を追加し、総額を4億9477万5千円とする補正です。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

栗山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例等

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

栗山町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

番号利用法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

子ども・子育て支援法施行規則等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

栗山町企業立地促進条例の一部を改正する条例

栗山町南部地区町民センター条例等の一部を改正する条例

岩見沢市との定住自立圏の形成に関する協定の締結について

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

栗山町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

3月定例会議 議案

令和6年度栗山町一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算から、1208万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を112億7395万5千円とするもので、主な内容は道央廃棄物処理組合負担金の減額などに係る補正です。

令和6年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算に3959万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ14億3471万円とするもので、主な内容は保険給付費等交付金の追加などに係る補正です。

令和6年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算から、276万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億1106万7千円とするもので、主な内容は海外派遣補助金の実績見込みによる減額などに係る補正です。

令和6年度栗山町介護保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算から、7962万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を14億5314万9千円とするもので、主な内容は介護保険システム改修費の減額などに係る補正です。

令和6年度栗山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算から、1803万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億4754万円とするもので、主な内容は北海道後期高齢者医療広域連合の負担金減額に係る補正です。

令和6年度栗山町住宅団地造成事業特別会計補正予算（第2号）

※議会は、当日受付で傍聴できます。開始前に役場3階の傍聴席入口までお越しください。

議会インターネット中継配信中！

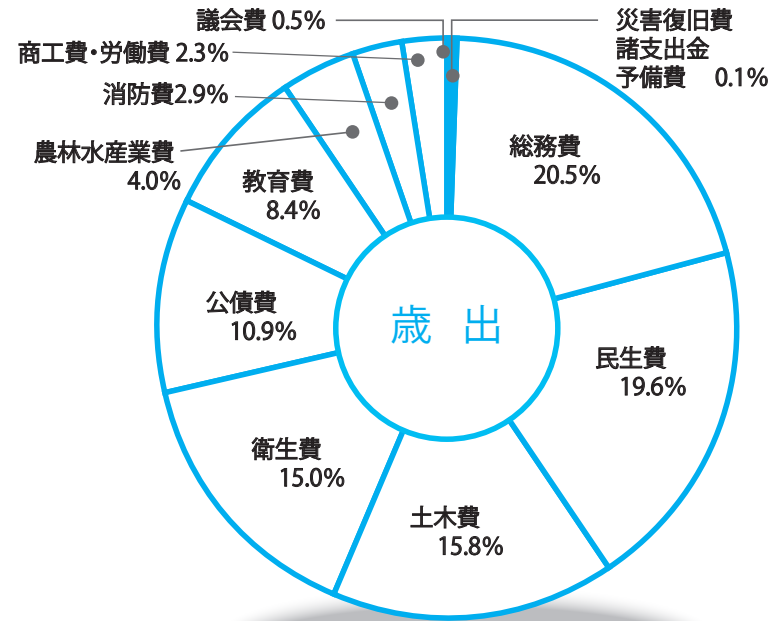
議会の様子をいつでもスマホ・パソコンで視聴できます！

録画配信あり

栗山町議会 検索



【図 2】歳出



歳出（町の支出）

目的別の歳出内訳は、職員給与、庁舎の施設管理などに要する総務費が 23 億 3,561 万 4 千円（20.5%）と最も多く、次いで児童、高齢者、福祉などに要する民生費が 22 億 3,360 万 3 千円（19.6%）、道路や公園、公営住宅の整備などに要する土木費が 17 億 9,884 万 3 千円（15.8%）の順となっています。【図 2】

【特別会計の概要】

特別会計は特定の事業目的のために一般会計と区分した会計で、町には 6 つの特別会計があります。本年度の特別会計予算の総額は 31 億 7,337 万円で、前年度と比較し 9,842 万円（△ 3.0%）の減となりました【表 1】。主な要因は、介護保険特別会計における居宅介護サービス給付費の減によるものです。

【事業（企業）会計の概要】

企業会計は、民間企業と同様の経理方法により運営している会計です。町の企業会計は、水道事業会計、下水道事業会計の 2 つの会計があり、本年度の総額は 19 億 4,211 万 3 千円で、前年度と比較し 7,940 万 4 千円（4.3%）の増となりました【表 1】。主な要因は、建設改良費の増によるものです。

【表 1】各会計予算の概要

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	対前年比 (%)
一般会計	113 億 9,000 万円	114 億 6,200 万円	△ 7,200 万円	△ 0.6
国民健康保険特別会計	13 億 2,860 万円	13 億 6,846 万円	△ 3,986 万円	△ 2.9
北海道介護福祉学校特別会計	1 億 1,158 万円	1 億 1,293 万円	△ 135 万円	△ 1.2
介護保険特別会計	14 億 401 万円	14 億 6,017 万円	△ 5,616 万円	△ 3.8
後期高齢者医療特別会計	2 億 6,124 万円	2 億 6,516 万円	△ 392 万円	△ 1.5
住宅団地造成事業特別会計	3,401 万円	3,090 万円	311 万円	10.1
工業団地造成事業特別会計	3,393 万円	3,417 万円	△ 24 万円	△ 0.7
水道事業会計	7 億 8,684 万 2 千円	6 億 7,646 万 3 千円	1 億 1,037 万 9 千円	16.3
下水道事業会計	11 億 5,527 万 1 千円	11 億 8,624 万 6 千円	△ 3,097 万 5 千円	△ 2.6
合 計	165 億 548 万 3 千円	165 億 9,649 万 9 千円	△ 9,101 万 6 千円	△ 0.5

— 令和 7 年度予算の概要 —



予算総額

165 億 548 万 3 千円

【問い合わせ】
企画財政課財政グループ
☎ 7503

令和 7 年度一般会計、6 つの特別会計、および 2 つの事業会計の予算が、令和 6 年栗山町議会定例会 3 月定例会議で可決されましたので、その概要についてお知らせします。

○ 令和 7 年度の当初予算額
町全体の予算総額は 165 億 548 万 3 千円で、前年度と比較し 9101 万 6 千円（△ 0.5%）の減となりました。

主に、公共施設等空調設備の整備、学校教育における ICT 利活用の推進、栗山赤十字病院の改築支援、第 5 期工業団地内道路新設、町営バスの運行や地域公共交通機関の確保維持、基幹業務システムの標準化対応、自治体 DX の推進などの予算が計上されました。

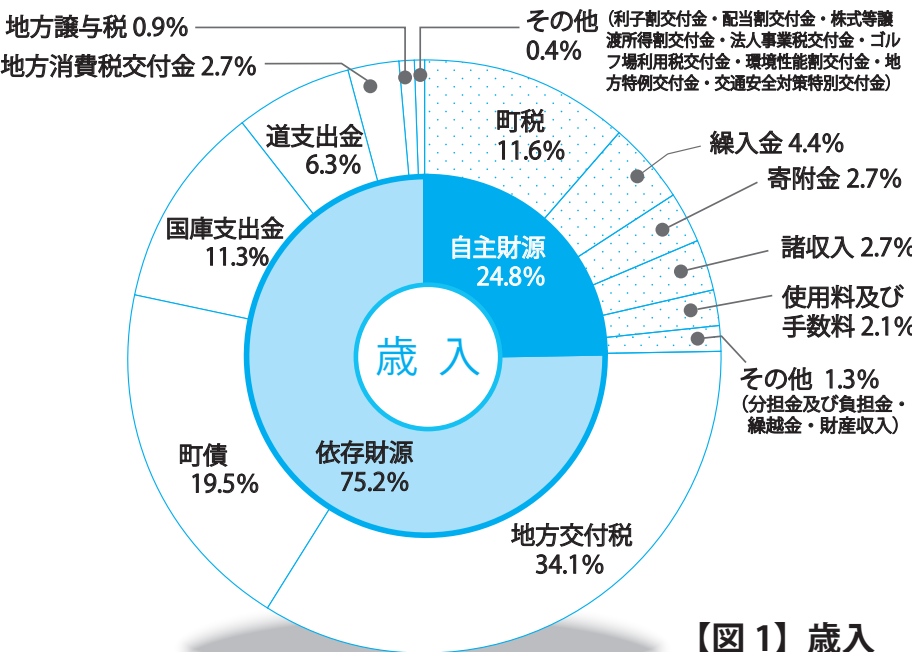
一般会計予算 113 億 9,000 万円の内訳

歳入（町の収入）

【一般会計予算の概要】

町の一番大きな会計であり、福祉、教育、産業などの幅広い事業を行う一般会計は、113 億 9,000 万円で、前年度と比較し 7,200 万円（△ 0.6%）の減となりました。【表 1】

歳入は、町税が前年比 3.4% 増の 13 億 1,626 万 8 千円、地方交付税が前年比 5.4% 増の 38 億 8,000 万円、町債が前年比 27.6% 減の 22 億 2,230 万円となりました。国や道からの補助金などによる依存財源の割合は 75.2% で、歳入の 8 割近くが国や道に依存している構造となっています。【図 1】



【図 1】歳入



今年度の **まちの主要事業** をお知らせします



安全・安心で快適なふるさとづくり (都市基盤)



建替後の中里団地（中央南団地）

- ・ 橋梁の点検・修繕 9,614 万 3 千円
- ・ 町道の道路環境維持・向上に向けた補修工事など 2 億 8,870 万円
- ・ 町営バスとして運行中の北広島駅循環線用デマンドバスの購入 541 万 9 千円
- ・ 公営住宅の整備・改修（中里団地の建替・ふじ団地の改修など） 5 億 9,110 万 6 千円
- ・ 栗山公園施設等の更新・整備 5,459 万 4 千円



みんなの絆で支え合うふるさとづくり (地域経営)

- ・ 情報システム・機器の活用 9,843 万 3 千円
- ・ 基幹業務システムの標準化対応など自治体 DX の推進 1 億 995 万 9 千円
- ・ コミュニティ放送局の運営支援、情報収集・発信の担い手育成など、町民との情報共有や町外への情報発信の充実 3,519 万 9 千円



昨年度開局した「エフエムくりやま」



心豊かに暮らせるふるさとづくり (生活環境)



カルチャープラザなど4つの公共施設で空調設備を整備

- ・ ごみ収集車の更新 1,415 万 6 千円
- ・ 公共施設等への空調設備の整備 9,150 万 9 千円
- ・ 生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向けた普及推進 130 万 8 千円
- ・ 消防広報車の更新 1,205 万 9 千円
- ・ 自転車乗車用ヘルメット購入費の補助 140 万円



人々が元気に輝くふるさとづくり (教育)

- ・ 学校用1人一台端末の更新 4,127 万 6 千円
- ・ 栗山高校の生徒確保と希望進路への支援、栗山高校「魅力化ビジョン（案）」の推進 4,065 万 6 千円
- ・ スポーツセンタートレーニング機器の更新 654 万 2 千円
- ・ ハサンベツ里山づくりの活動支援 909 万 1 千円



ハサンベツ里山作業日の様子



健幸で生きがいを感じるふるさとづくり (医療・保健・福祉)



栗山赤十字病院の改築の様子

- ・ 乳幼児期の健やかな発達・発育の支援 1,922 万 9 千円
- ・ 栗山赤十字病院の改築支援 11 億円
- ・ 子育てしやすい環境の充実 1,132 万円
- ・ ケアラー支援の充実 506 万 3 千円



活力と賑わいあふれるふるさとづくり (産業)

- ・ 農薬散布用無人航空機の導入支援 221 万円
- ・ 道営農地整備事業の実施（円山・御園・富士地区など） 4,241 万 9 千円
- ・ 商店街地域カードの電子化事業に対する支援 528 万 6 千円
- ・ 第5期工業団地内への道路新設 1 億 7,180 万円
- ・ 観光・交流による地域経済の活性化 3,575 万 3 千円



秋まつりの様子

詳しい情報は別冊資料をご覧ください

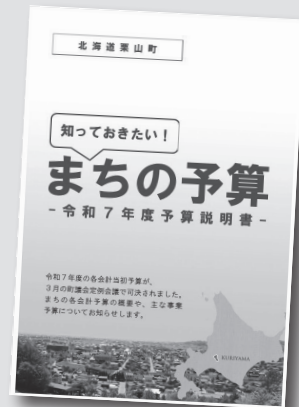
今月の掲載内容のほか、より具体的な予算内容をまとめた冊子「知っておきたい！まちの予算～令和7年度予算説明書～」を作成しました。冊子は下記の施設に配置しているほか、町ホームページでも掲載しています。ご希望の方には配布も行っておりますので、ご希望の場合は下記までご連絡ください。

■設置窓口

- ・ 役場新庁舎1階
- ・ カルチャープラザ
- ・ しゃるる
- ・ 図書館
- ・ 改善センター
- ・ 南部公民館

【問い合わせ】

企画財政課財政グループ ☎ 73-7503



～功績をたたえて～



旭日単光章受章

町議会議員を務められた故木内 勲雄さんが旭日単光章を受章し、長男の学さんが勲章の伝達を受けました。木内さんは昭和 62 年に町議会議員に初当選され、平成 3 年から平成 7 年までの 4 年間は産業建設常任委員会副委員長、平成 10 年から 2 年間は副議長を務められるなど、3 期 12 年ものながきに渡り、地方自治の発展に尽力されてきました。今回はその功績が認められ、地方自治功労者としての受章となりました。

栗山町青年農業賞

令和 6 年度栗山町青年農業賞および勝部徳太郎夫婦賞を富士の前田一樹さん、菜奈恵さん夫妻が受賞しました。前田さんは平成 24 年に後継者として就農。玉ねぎや小麦などの農産物を生産するほか、くりやま農業未来塾での活動をはじめ、若手農業者団体である JA そらち南青年部などでも活躍するなど、地域や仲間との信頼関係を築き、栗山町農業の将来を担う人材として期待されています。



まちづくり懇談会の主な内容

- ①令和 7 年度予算の編成など
- ②自由懇談

皆さんの声を市政に

まちづくり懇談会

- **4月23日(水)** 18:30～ 栗山市街・北部地区の皆さん
会場：しゃるる 町内会長、北部地区自治会長
- **4月28日(月)** 18:30～ 栗山市街・北部地区の皆さん
会場：カルチャープラザ 町内会長、北部地区自治会長
- **4月30日(水)** 18:30～ 継立・日出・南部地区の皆さん
会場：南部公民館 南部地区自治会長
- **5月2日(金)** 18:30～ 角田・中部地区の皆さん
会場：改善センター 中部地区自治会長

※ **5月1日(木)** 18:30～ 町内会・自治会以外の関係団体さま（上記日程に出席できない方もご出席いただけます）
会場：カルチャープラザ

くりやま老舗まつり

4月 **12** 日(土)
10:00～16:00

4月 **13** 日(日)
10:00～15:00

明治 11 年創業の老舗「北の錦」小林酒造と、大正 2 年創業「谷田の日本一きびだんご」谷田製菓、さらに 1 市 4 町の人気飲食店が立ち並ぶ「ふるさと田舎まつり」が織りなす「くりやま老舗まつり」を今年も盛大に開催します。皆様のご来場をお待ちしています。※詳しい内容は折込チラシをご覧ください。

※第 37 回北の錦酒蔵まつり

【場所】小林酒造株式会社（錦 3）☎ 72-1001
・国の登録有形文化財酒蔵群の一般開放など

※第 24 回きびだんごまつり

【場所】谷田製菓株式会社（錦 3）☎ 72-1234
・製造工場の見学など

※ふるさと田舎まつり 2025

【場所】栗山煉瓦創庫くりふと 横
・近隣 1 市 4 町の人気飲食店の出店など

※栗山煉瓦創庫くりふと連携イベント

【場所】栗山煉瓦創庫くりふと（中央 3）☎ 76-9945
・ファブラボ栗山ものづくり体験ワークショップなど

※天然温泉くりやま

【場所】ホテルパラダイスヒルズ（湯地）☎ 72-1123
・ホテルご利用の方限定で甘酒無料提供

※まちの駅 栗夢プラザ

【場所】まちの駅「栗夢プラザ」（中央 2）☎ 73-5515
・酒造まつり限定商品の販売

第 19 回「東京栗山会」総会が開催されます

栗山町出身者および栗山町にゆかりのある方で構成される「東京栗山会」の総会が、5 月 24 日(土)午後 2 時より、東京都の都市センターホテルで開催されます。東京栗山会は、栗山町出身者および栗山町にゆかりのあり方で構成され、栗山を愛する人が集い、栗山の発展のために活動している団体です。

地元・栗山町からも多くの出席が予定されていますが、東京近郊にお住まいの方をはじめ、総会に出席して、懐かしい顔に会い、栗山を語り、栗山を応援しませんか？

【日 時】5 月 24 日（土） 午後 2 時～5 時予定

【場 所】都市センターホテル 5 階「オリオン」（東京都千代田区平河町 2-4-1）
☎ 03-3265-8211

【内 容】栗山町からの PR、お楽しみ抽選 ほか

【会 費】10,000 円

その他詳細、お問い合わせは、町ホームページをご確認ください→





*School Of Kuriyama
Graduation Ceremony*

ずっと
忘れない



Graduation ceremony

3月、町内の各学校で卒業式が行われ、
たくさん思い出が詰まった学び舎から巣
立ちました。



クレープに込められた思いを東大生へ 北山沙也加さん

地域おこし協力隊の北山沙也加さん（3月未卒業）が3月10日、学生団体「東大むら塾」の研修に参加しました。同団体は平成30年より町と交流を深めており、北山さんは研修の講師として、自らが手掛けるクレープ作りを指導。その後学生に対し、町を拠点とした今後の活動への思いを伝えました。



値ごろ市×キッズクラブ キッズカフェがオープン

青少年体験学校「栗山キッズクラブ」の活動が3月8日、栗山煉瓦創庫くりふとで行われました。今回は湯地の直売店「値ごろ市」とのコラボカフェとして、同店が提供するプレート料理の調理を体験。午後からは接客から食事提供までを子どもたちが担い、美味しい料理をふるまいました。



全道かるた大会の結果を報告 角田小の佐藤銀士さん・文夏さん

北海道子どもかるた大会に出場した角田小6年の佐藤銀士さん・同2年の文夏さんが2月17日、吉田政和教育長へ報告に訪れました。二人はチーム編成の関係から、岩見沢チームに合流し出場。二回戦敗退という結果に悔しさを滲ませながらも「また一から練習をもっと頑張りたい」と話していました。



練習用防具を寄贈 栗山工業団地企業協議会

工業団地企業協議会が2月17日、少林寺拳法少年団に練習用防具のヘッドガードを寄贈しました。同協議会は青少年育成事業の一環として、町内の団体に毎年物品の寄贈を行っています。受け取った栗山小4年の岡村恭義さんは「一生懸命稽古して、強くなれるように頑張ります」と力強く話していました。



歌や舞い、練習の成果を披露 高齢者演芸会

町老人クラブ連合会が主催する高齢者演芸会が3月17日、カルチャープラザで開かれました。個人・サークルで活動している21組43人が参加し、日頃の成果を発表する恒例イベント。歌謡や民謡、息がピッタリとあった楽器演奏、フラダンスなどが披露され、約200人の観客たちを魅了していました。



フルオーケストラによる迫力ある演奏 札幌ひなまつりコンサート

第37回札幌ひなまつりコンサートが3月15日、スポーツセンターで開かれました。今年は川瀬賢太郎さんがタクトを振り、第一部でベートーヴェンの交響曲第7番を演奏。第二部では聴きなじみのあるクラシックの数々が披露され、来場者約520人はフルオーケストラの迫力ある演奏に聴き入っていました。



栗っ子57人の活躍をたたえる “輝け栗っ子” 児童生徒表彰式

小中学生の活躍をたたえる「令和6年度児童生徒表彰式」が2月28日、しゃるるで開かれました。今年表彰されたのはスポーツ大会や文化活動などで優秀な成績を収めた小学生38人と中学生19人。佐々木学町長と吉田政和教育長が児童生徒一人ひとりの栄誉を称え、表彰状と記念メダルを手渡しました。



空知の技能者が栗山に集う 第49回空知管内技能尊重推進大会

空知管内の技能者・関係団体が集う第49回技能尊重推進大会が2月21日、カルチャープラザで開かれました。大会では町技能協会の小野寺漸さんをはじめ優れた技能者4人に表彰状が授与され、その後記念講演として、栗山高校女子野球後援会常任理事の塩見望さんによる講演などが行われました。



最新ニュースをお届けします！



No.205

今年は**4月29日(祝)**オープン！！

今年の栗山公園オープンは4月29日(祝)10:00からです。毎年恒例のオープンイベントを開催し、キッチンカーも多数出店予定です。ぜひお越しください。

〈栗山公園オープンイベントタイムスケジュール〉

10:00～ 栗山公園オープン

お子様用のお菓子の贈呈（先着200人）や、パクパクタイム無料券1枚贈呈（先着50人）



11:00～15:00 パクパクタイム

ポニー、うさぎ、やぎ、ひつじ、エゾシカ、モルモットににんじんをあげてみませんか？

※動物の体調や満腹具合をみて、早めに終了する場合がありますのでご了承ください。



12:00～ 花の苗プレゼント

大人のお客様（先着50人）に差し上げます。ぜひ、ご家庭で育ててみませんか？

12:30～ みのり太鼓ステージショー

栗山みのり太鼓による、力強く迫力のある太鼓の音色をお楽しみください。



※天候不良により、中止になることがありますのでご了承ください。

キャンプ・バーベキューコーナーの予約受付はじめます

4月21日(月)10:00よりキャンプ・バーベキューの受付を開始します。

29日(祝)のオープンまでは、電話予約（平日10:00～15:00）もしくはWEB予約のどちらかとなります。

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706

指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】

★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



No.33

小さな眼の表現活動「くり山の子ども」

3月の卒業式も終わり、学校は4月の新入学の季節となりました。昭和38年に創刊された「くり山の子ども」という文集があります。前に栗山中学校の学校史「栗苑」を紹介しましたが、こちらは栗山町教育振興会が町内全域の学校生徒の作文や詩の作品などを集めて、年に一度刊行しているものです。昨年出された60号まで、題字や編集内容の変遷はありましたが、表紙やカット、無論内容も生徒作品とその評を中心としたものでした。古い号には町内の日出、御園、杵臼、雨煙別、南学田、円山、桜山、滝下など、今はない小学校生徒の作品があり、学校の記憶も感じられます。



戦前には、空知第四方面綴方研究部が発行していた文集「郷土文集」もありました。文集を通して眺めると時代とともに変わる社会の姿も見えてくるようです。小学生、中学生という年代に、どのように思い・考えて過ごしたのか。この60年間に生徒の「その時」が反映され、時代を捉えた心象のタイムカプセルとなっています。どなたか、創刊号から第8号までお持ちでしたら町史資料室までお知らせください。

YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中！



町史資料調査室
☎ 76-7820

移住Cコシモトの

栗山移住
こしよこしよ話♪



毎回栗ごはんベレー帽をかぶって相談会に臨んでいます

栗山町移住コーディネーター

文：腰本 江里沙

（通称：移住Cコシモト）

栗山町の移住情報は、ウェブサイト
で公開中です！→



第6話「道内から道内へ」

ありがたいことに「コシモトさん、広報で見たよ」と声をかけられることが増え、とても嬉しい半面、ますます適当なことは書けないと身が引き締まる思いの私。今年度もよろしくお願いいたします。

さて、3月上旬に札幌で移住相談会がありました。「移住」というと東京や大阪などの大都市から地方へ移るといったイメージがありますが、昨今の栗山町では札幌在住の方からのお問い合わせがとても多く、当日も栗山町ブースは常に相談者がいる状態で、あっという間に一日が終わりました。札幌から車で60分ほどの距離ということも

あり、もうひとつの拠点を求める「二地域居住」への関心が高いことも驚きでした。

北海道は地域によって気候や風土、歴史的背景、産業などに違いがあり、その人が「どんな田舎暮らしをしたいか」というニーズに対する多様な選択肢があります。私の栗山町の推しポイントは、「札幌などの都市や空港が近くにある利便性」と、「豊かな自然と美しい農村風景とともに暮らせる田舎」の両方をいいとこどりできるところ。この「田舎過ぎない田舎」を求めるひとりでも多くの人たちに栗山町が刺さるよう、今年度も駆け抜けます！

子育てボランティア募集中！

地域の子育て、一緒に応援しませんか？

子育て支援センター「スキップ」では年5～6回・2時間程度、子どもたちの託児やイベントのお手伝いをしてくれる登録ボランティアを募集しています。子育て経験者や子どもが好きな方など、どなたでも大歓迎です。ぜひ一緒に子育てを応援しませんか？

【問い合わせ・申込先】子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280

●対象

町内在住・在勤の方でボランティア活動に興味のある方(特別な資格は不要)

●活動内容

子育て支援センターの講座や育児サークル行事での託児、イベント(講演会やお楽しみ会など)のお手伝い

＼子どもの成長を間近で／



＼子どもたちとのふれあいタイム♪／



Interview

私なりにできること、子どもたちと保護者の皆さんへ

3年前に東京から移住しました。ボランティアに参加するきっかけは、この広報紙で募集記事を読んだことだったと思います。もともと子どもに関わることは好きでしたが、移住を決める際に町の方に大変お世話になり、これからは何か町の力になりたいなという思いから、活動に関わるようになりました。可愛い子どもたちに囲まれると私自身もすごくエネルギーをもらえますし、少しでも保護者の方がリフレッシュできる時間をサポートできればと思っています。



子育てボランティア
野尻 佳奈子 さん

元気が一番

保健のお知らせ【問い合わせ】住民保健課健康推進グループ ☎ 73-2256



高齢者带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成

令和7年度から65歳の方などを対象に带状疱疹ワクチンの接種費用を一部助成します。
令和7年度対象者は下記の通りです。接種の機会を逃さないようにご注意ください。

【対象者】 ※既に任意接種された方を除く。

①右記の生年月日の方

※令和7年度から令和11年度の各年度において右記の年齢に到達する方へ5年かけて助成を行います。

※101歳以上の方は令和7年度に限り全員対象です。

②60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能の方

※対象者(②を除く)の方に個別に通知しますので、ご確認ください。
接種期限は令和8年3月31日までです。

対象者	生年月日
65 歳	昭和 35 年 4 月 2 日～ 36 年 4 月 1 日
70 歳	昭和 30 年 4 月 2 日～ 31 年 4 月 1 日
75 歳	昭和 25 年 4 月 2 日～ 26 年 4 月 1 日
80 歳	昭和 20 年 4 月 2 日～ 21 年 4 月 1 日
85 歳	昭和 15 年 4 月 2 日～ 16 年 4 月 1 日
90 歳	昭和 10 年 4 月 2 日～ 11 年 4 月 1 日
95 歳	昭和 5 年 4 月 2 日～ 6 年 4 月 1 日
100 歳	大正 14 年 4 月 2 日～ 15 年 4 月 1 日
101 歳以上	大正 14 年 4 月 1 日 以前の生まれ

带状疱疹ワクチンは2種類あります



いずれのワクチンも带状疱疹に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン	組換ワクチン
接種回数	1 回 (皮下に接種)	2 回 (筋肉内に接種) 通常 2 カ月以上の間隔をあける
効果	1 年後	6 割程度の予防効果
	5 年後	4 割程度の予防効果
	10 年後	—
助成額	4,000 円	22,000 円 (1 回 11,000 円)
助成方法	医療機関で接種後、接種費用から上記助成額を差し引いた費用を医療機関に支払い (生活保護世帯は全額助成)	

※ワクチンの接種は、接種医療機関へ直接予約が必要です。通院や入院などによりやむを得ず町外医療機関で接種する場合は、事前申請が必要となるため、上記までお問い合わせください。

健(検)診のご案内

■集団健診会場で受診する場合

電話予約 (☎ 73-2256) または Web 予約→
※令和 7 年度集団検診の日程は町ホームページに掲載しています。

■各医療機関で受診する場合

医療機関へ直接ご連絡ください。
※特定健診の項目に心電図が加わり、各医療機関(梶整形外科医院を除く)で受けられるようになりました。



献血のお知らせ

【実施日】4月15日(火)

- ・消防署
9:30～10:30
- ・北海道介護福祉学校
12:00～13:00
- ・栗山警察署
14:00～15:00
- ・栗山赤十字病院
15:30～16:30

CHECK! もし、私有地にごみが捨てられたら
私有地に捨てられたごみは、町で撤去できません。不法投棄をした者が特定できない場合は土地所有者で処分が必要です。

【不法投棄を防ぐための対策】

① こまめな草刈りで見通しをよく



② 定期的な見回りを行う



③ 不法投棄禁止の看板を設置



4月になると雪解けが進み、冬期間に不法投棄されたごみが目立ち始めます。不法投棄は自然環境や美観を損なうほか、環境の汚染や悪臭の原因、近隣住民への迷惑となる許されざる行為です。

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」では、みだりにごみを捨てることを禁じており、不法投棄を行った場合、5年以下の懲役もしくは1千万円（法人は1億円）以下の罰金、またはその両方が課せられます。不法投棄を発見した際は警察署または環境生活課に連絡をお願いします。また、自分の土地を守るのは自分自身です。不法投棄をさせない環境づくりにご協力をお願いします。

町民の皆さんへ

しない！させない！

不法投棄は犯罪です



不法投棄をさせない
環境づくりを

春の全町一斉清掃

■日時 4月20日(日) 7:00～

※6:45の打上花火で合図・雨天決行

※詳細は各町内会・自治会経由でお知らせします。

※家庭ごみの収集は行っていません。家庭ごみは、各地区の決められた曜日に排出してください。



【今回の一斉清掃より、分別方法が一部変更となりました】

【変更前】



【変更後（今回）】



栗山学び隊 No.59

地域で輝く介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします

兄から続く、栗山で学ぶ介護の道

千葉 瑞姫 さん（介護福祉学校2年）

岩見沢市出身で卒業生でもある二つ上の兄の影響もあり、介護の道を志しました。「家でいつも楽しそうに学校の話をする兄の姿を見ており、オープンキャンパスでも先生との距離の近さや介護の魅力を感じ入学しました」と話します。これまで栗山を訪れたことがなかったという千葉さん。「老人クラブの交流会や里山づくりボランティアなどで初めて町と関わるよ

うになりました。人の温かさ、笑顔が素敵な方ばかりでびっくりしました」と話します。2年生になると、すぐに介護施設実習が始まり、卒業後の進路も検討する時期です。「夢はもちろん介護福祉士。まず昨年の実習以上に主体的に動くことを意識して取り組みたい。礼儀や挨拶を大切に、技術を知識を身に付け、安心を与えられる存在になりたいです」と語りました。



“大親友”で作り上げたデザインが公開

太田 恵依 さん（左）・野澤 雪音 さん（右）（栗山高校3年）

ともに美術部所属で卒業後はデザイン系の学校を志望する二人。担任からの要望もあり、リニューアルされた学校ホームページのTOP画像のデザインを手がけました。「頼まれたときはびっくりしましたが、友人たちともアイデアを出しあい、いいものができたと思います」と振り返ります。キャラクターデザインを担当した野澤さんは「受験生が見ることをイメージし、制服や

桜、顔の向きなど前向きな要素を工夫しました」と話します。背景を担当した太田さんは「短期間の作業でしたが、うまくできました。ページのアクセス数も増えたようですよかったです」とほっとした様子を見せます。現在、オープンキャンパスなど進路に向けた準備を重ねている二人。「やりたいことを明確にし、校風も調べながら良い選択ができればと思います」と口を揃えて話しました。



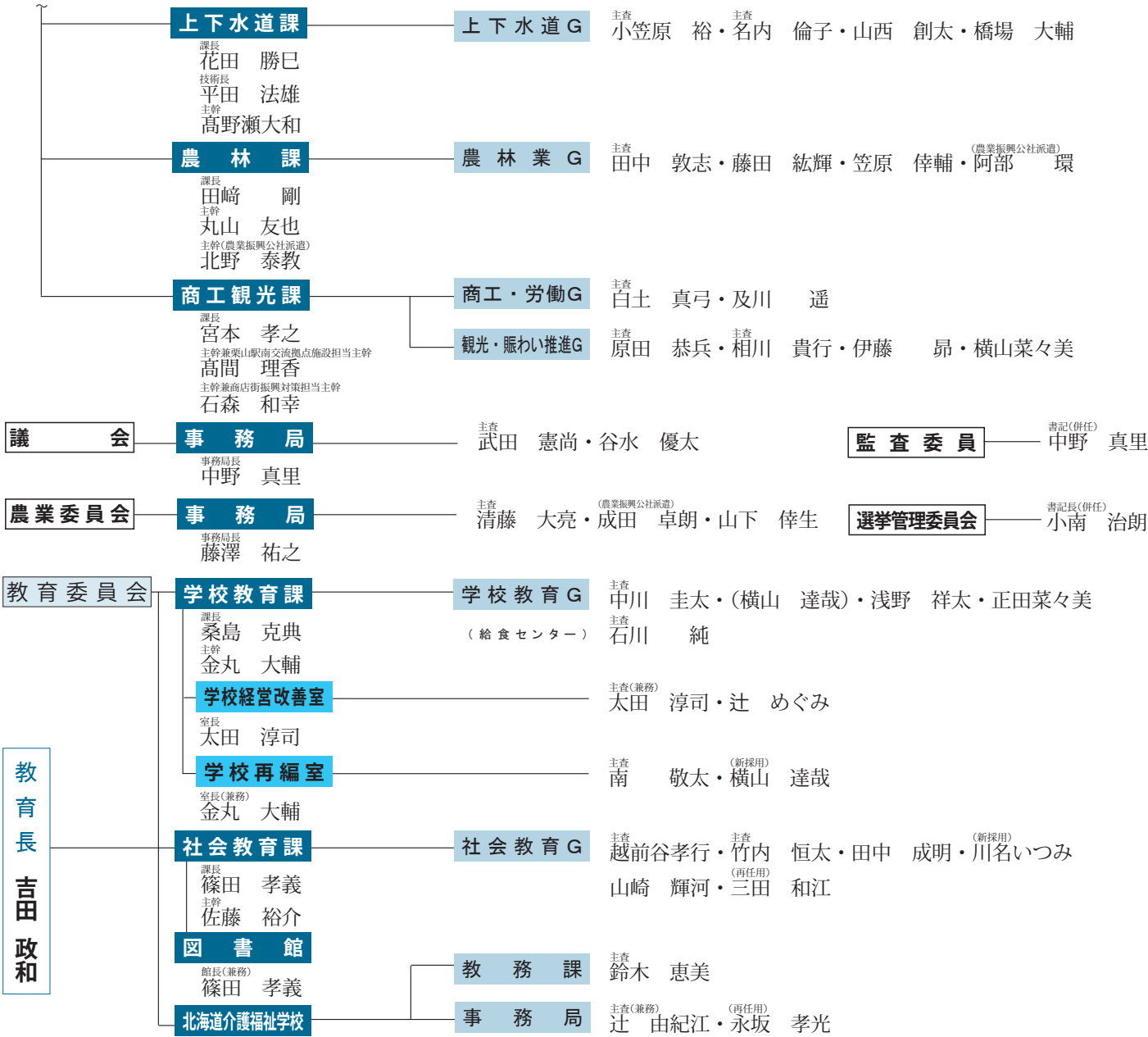
▲二人が担当したTOPページのデザイン。上記の二次元コードよりご覧いただけます。

町長

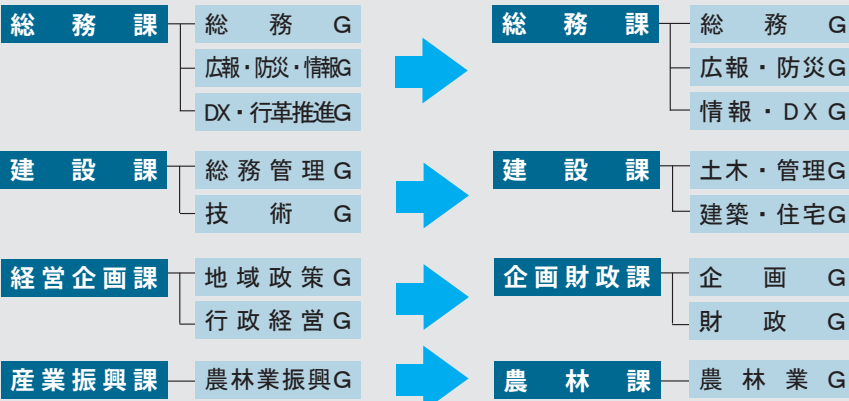
佐々木 学

副町長

橋場 謙吾

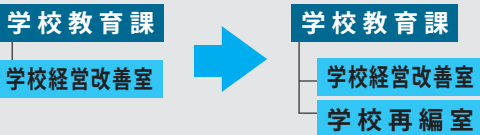


主な変更点① 課・グループ名の変更



主な変更点② 学校再編室の設置

学校教育課に「学校再編室」を設置し、町立小中学校の適正配置をはじめ、小中一貫教育の推進や地域・関係団体との協議など、学校運営の再編を行います。



南空知消費生活相談室です！

4月から相談受付先が変わりました／
☎ 73-7516（商工観光課内）

今月のテーマ「分電盤の点検商法に注意！」

分電盤は、一般的に玄関や洗面所などに設置されているものですが、電話などで電力会社を名乗るなどして点検を持ち掛ける商法が急増し、相談件数は2024年11月末時点で前年度の約25倍となっており、契約当事者の約8割が70歳以上となっています。

事例

契約している電力会社に委託されたという業者から「分電盤の点検をする」と電話があり、交換の必要があると言われたので23万円の契約をした。念のため契約している電力会社に確認すると無関係な業者であることが分かった。不審なので解約したい（90代男性）

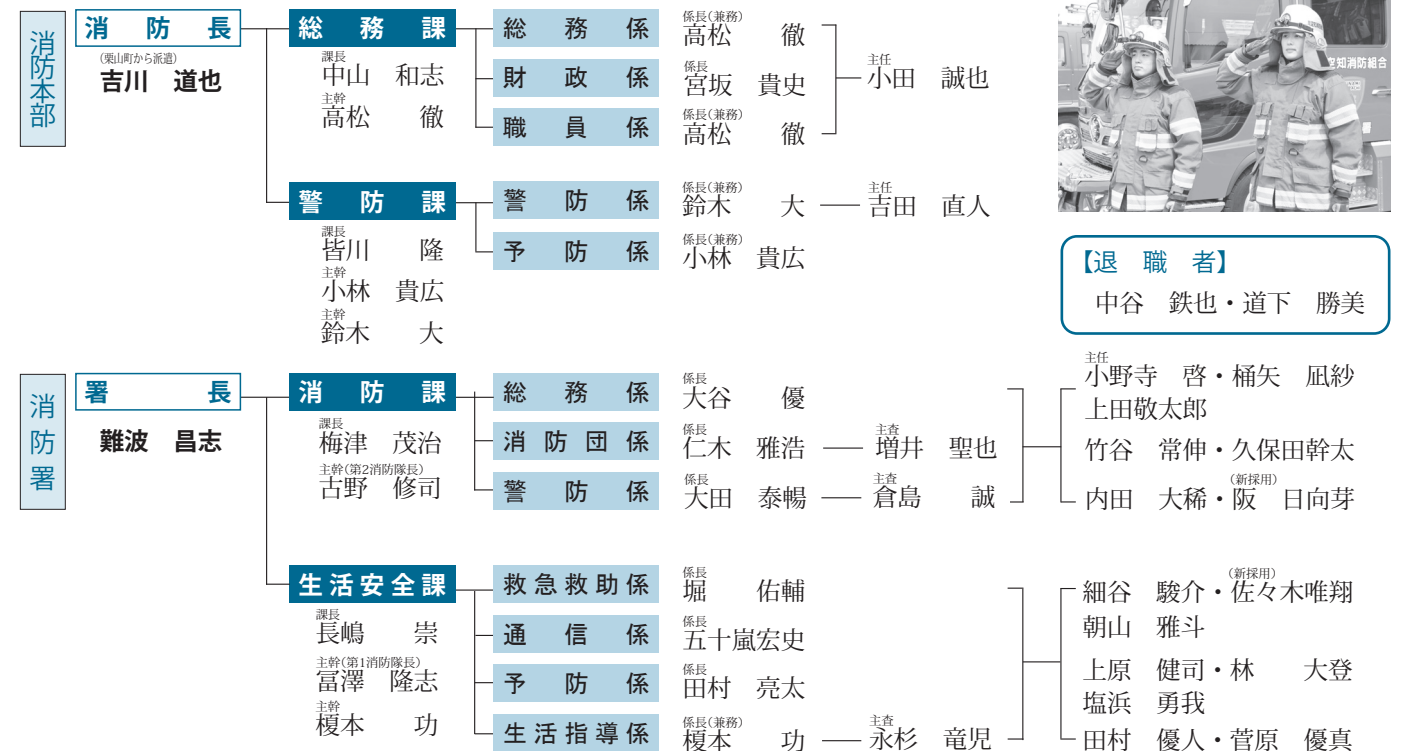
消費者へのアドバイス「トラブルにあわないために」

POINT！

- 電話などで点検を持ちかける業者は安易に信用しないようにしましょう。
- 点検させてもその場では契約せず、十分に比較・検討しましょう。
- 4年に1度の法定点検について日頃から確認しておきましょう。
- 点検業者が訪問した際は必ず調査員証の提示を求め、少しでも不安を感じた場合は電力会社や南空知消費生活相談室にご相談ください。

南空知消防組合

職員の配置（令和7年4月1日現在）



4月1日付
北海道教育委員会発令

学校職員の異動

（敬称略）

【転出】（ ）内は新任校	
校長 栗山小	小玉 剛（岩見沢・志文小）
角田小	鈴木 祐子（砂川・空知太小）
教頭 土谷 直樹（栗山小）	
教頭 栗山小	土田 庄悟（菅別・上菅別小※校長採用）
角田小	奈良崎 功（角田小※校長採用）
教諭 栗山小	小林 幸代（退職）
	朝倉 秀明（奈井江・奈井江小）
	栗本 浩志（新得・新得小）
	柏木麻美子（岩見沢・中央小）
	古谷 直人（南幌・南幌小※再任用）
	竹内乃扶子（岩見沢・美園小※再任用）
角田小	片山 倫光（岩見沢・中央小）
継立小	畑山由美子（砂川・空知太小）
栗山中	山田 圭子（砂川・砂川中）
	尾崎 克己（南幌・南幌中）
	星 貴博（岩見沢・清園中）
	近藤 健一（砂川・砂川中）
	塚八 大宇（岩見沢・清園中※再任用）
	斎藤葉津美（岩見沢・上幌向中※再任用）
【転入】（ ）内は前任校	
校長 栗山小	土谷 直樹（継立小）
角田小	奈良崎 功（角田小※校長採用）
継立小	川元 海洋（新十津川・新十津川小※校長採用）
教頭 栗山小	菅原 崇（上砂川・上砂川中央小）
角田小	梶沼 登資（菅別・上菅別小※教頭昇任）
教諭 栗山小	長井 健善（岩見沢・幌向小）
	岡本 敦（由仁・由仁小）
	荻根澤夏末（根室・花咲小）
	ロス 遥（札幌・西園小）
	早坂 義弘（上砂川・上砂川中）
継立小	北島 桂子（岩見沢・中央小）
福本 千也（岩見沢・美園小※再任用）	
栗山中	渡辺 美香（岩見沢・清園中）
	池亀 浩二（岩見沢・上幌向中）
	猪又 正志（南幌・南幌中）
	中川 宏己（砂川・砂川中※再任用）
事務職員 角田小	松浦 秀年（夕張・ゆうばり小※再任用）
継立小	小笠原有希（月形・月形小）

くりやま暮らし応援商品券 を交付しています

物価高騰などで影響を受けている町民皆さんの生活を支援するため、町内のお店での買い物などで使用できるくりやま暮らし応援商品券を交付しています。

※商品券は2月～3月にかけて発送しています。受け取られていない方は、下記へお問い合わせください。



【対象者】

令和7年1月1日を基準日に、本町の住民基本台帳に登録されている方（全町民）
※1月2日～31日までの間に、出生および転入された方も対象です。

【交付額】 1人につき5,000円（1枚500円の券を10枚交付）

【使用店舗】 くりやまギフトカード加盟店会加盟店舗（117店舗）
※商品券配送時に同封したリーフレットをご覧ください。

【使用範囲】 食料品や燃料などの購入、飲食、その他サービスの利用など幅広く使用できます。

【使用期間】 商品券到着の日から令和7年7月31日(木)まで

【問い合わせ】 商工観光課観光・賑わい推進グループ ☎ 76-7787

くらし・支援

町指定ごみ袋の無料配付

介護認定または障害者手帳の交付を受けていて、在宅で紙おむつや尿取りパットを使用している方にごみ袋を配付します。

◆必要なもの

○新規申請

・対象者証明書類（介護保険被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳など）

・紙おむつなどを購入したことがわかるもの（領収書やレシートなど）

・印鑑

○更新申請

・前年度の配布証
・印鑑

◆配布内容

○紙おむつ使用者

・茶色袋35リットル

1カ月10枚

・茶色袋50リットル

1カ月5枚

○尿とりパット使用者

・茶色袋35リットル

1カ月5枚

水道使用開始の
届け出を忘れずに

引っ越しにより新たに水道を使用する場合は、必ず届け出が必要です。届け出がないと水道を使用することができません。忘れずに届け出をお願いします。届け出の際には、氏名、住所、連絡先、使用開始日をお知らせください。

【問い合わせ】

上下水道課 ☎ 7514

詳細はこちら▼



緊急告知FMラジオ
無償配付中

全世帯を対象に防災ラジオを無償で配付（貸与）しています。緊急告知放送は、エフエムくりやまの放送電波を利用してします。日頃の防災への備えとして是非お受け取りください。

【問い合わせ】

総務課

広報・防災グループ

☎ 7501

【申込先・問い合わせ】

福祉課

福祉・子育てグループ

☎ 2222

福祉ハイヤー
利用料金助成

心身に障がいをお持ちで歩行が困難な方などに、ハイヤー料金を助成します。

◆対象

令和6年度の町民税非課税世帯で、次のいずれかに該当する方

①身体障がいの程度が1級または2級で下肢・体幹・視覚のいずれかに障がいをお持ちの方

②身体障がい者・児であってじん臓機能障がいの人
工透析通院者（町内医療機関への通院に限る）

③療育手帳A判定の方（児童含む）

※生活保護を受給している方は対象外です。

◆必要なもの

印鑑、身体障害者手帳または療育手帳

利用できる事業所

株式会社栗山ハイヤー

【申込先・問い合わせ】

福祉課

福祉・子育てグループ

☎ 2222

固定資産の縦覧・閲覧

①土地・家屋価格縦覧帳簿の縦覧
土地・家屋の納税義務者

②固定資産税課税台帳の閲覧
本人または同世帯の家族

◆期間

4月1日（火）～6月2日（月）

◆持ち物

※②は期間を過ぎても閲覧可
身分証明書（運転免許証・マイナンバーカードなど）

【場所・問い合わせ】

税務課課税グループ

☎ 7504

人にやさしい住宅助成

町内在住の方が次の①～③の工事をした場合に工事費の一部を助成します。
※工事後本町に移住予定の場合や、解体工事の場合は町外の方も対象です。

◆対象

①バリアフリー改修工事
10万円以上の工事が対象

（補助率3割・上限40万円）

②耐震改修工事

50万円以上の工事が対象
（補助率2割・上限50万円）

③解体工事

50万円以上の工事が対象
（補助率2割・上限30万円）

※建設業許可を得ている町内事業者が施工する工事に限ります。

◆申請期限（着工前に申請）

12月30日（火）

（耐震改修工事は9月末）

【申請先・問い合わせ】
建設課建築・住宅グループ

☎ 7512

外壁の塗装などは
周囲と調和するものを

栗山町景観条例により、外壁や屋根の工事（塗装など）を行う際、周囲と調和する目立たないものとする。次を示す工事は事前に届出が必要になります。
◆届出が必要な工事
延べ床面積200㎡を超

える建物を、新築・増改築・外観の変更（屋根や外壁の張替・塗装など）する場合

※建物の高さや色彩を規制し、景観に配慮した町づくりを行うためのものです。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

【申請先・問い合わせ】

建設課建築・住宅グループ

☎ 7512

地デジ広報の終了

北海道文化放送（UHB）の地上デジタル放送を活用し、イベントや暮らしの情報などを発信していましたが、本年3月で終了いたしました。これらの情報はエフエムくりやまにて放送していきますのでぜひご利用ください。

【問い合わせ】

総務課

広報・防災グループ

☎ 7501

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動を実施します。スピードダウンを徹底し、危険を予測する運転に努めましょう。

◆実施期間

4月6日（日）～15日（火）

【問い合わせ】

栗山警察署 ☎ 20110

催し

ハンドメイドイベント
ハッピーマーケット

町内外のハンドメイド作家の作品やパン・焼き菓子など約17店舗が出店します。

◆日時 4月12日（出）

午前10時～午後4時

◆場所 カルチャープラザ

◆入場料 無料

【問い合わせ】

カルチャープラザ

☎ 3333

オレンジカフェ
について学ぼう！

オレンジカフェは認知症の当事者やその家族、地域住民、医療や福祉関係者など誰でも気軽に集うことができる場です。お茶やコーヒーを飲みながら自由に会話を楽しんだり、相談したりできます。これまでの取り組みやオレンジカフェの役割について説明します。

◆日時 4月16日（水）

午後1時半～3時

◆場所 いきいき交流プラザ

ガーデンハウスくりやま

☎ 2600

栗山陶芸同好会
春の作陶展

会員が制作した食器・花器・飾り物などを展示します。お友達をお誘い合わせの上、ご来場ください。

◆日時

4月25日（金）～27日（日）

午前9時～午後7時

◆場所 カルチャープラザ

【問い合わせ】

栗山陶芸同好会事務局

猪熊 ☎ 25560

国民年金

国民年金保険料をスマートフォンアプリで支払えます

国民年金保険料は、決済アプリで納付書に記載されているバーコードを読み込むことで電子決済ができます。なお、バーコードが印字されていない納付書（30万円を超える金額の納付書および延滞金納付書）はスマホ決済ができません。

■対象の決済アプリ

- ・AEON Pay
- ・PayB（PayBと提携している各金融機関が提供する決済アプリを含む）
- ・auPAY
- ・PayPay
- ・d払い
- ・LINE Pay（令和7年4月30日にサービス終了します）
- ・楽天ペイ

■手順

1. 決済アプリを起動し、納付書のバーコードを読み取る
2. 決済内容を確認後、パスワードを入力し完了

※決済後の納付書はコンビニや金融機関などで使わないでください。

【問い合わせ】 住民保健課国保グループ ☎ 73-7508



▲詳細はこちら

1年間よろしくお願ひします

令和7年町内会長・自治会長を紹介します

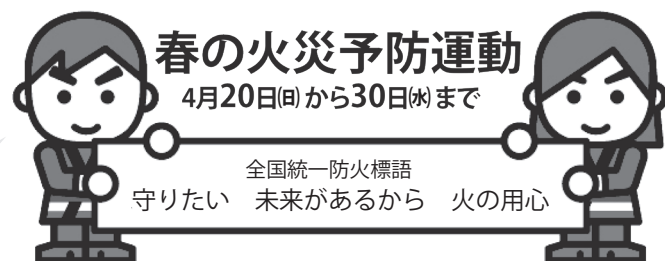
●町内会長

地区	会長	5区	榑崎 忠彦	中央	高橋 信
松風第1	大沼 英明	6区	前田 勝治	朝日	湯地 定暁
松風第2	佐藤 敬一	7区	小野 政則	朝日4丁目	古瀬 一芳
寺町	高倉 淳	8区親交会	坂口 昇一	栗山農事	有塚 晴三
松風本町	工藤 信司	9区	岡本 大作	中里団地	川村 健一
松風第5	村上 勝彦	10区	金崎 行男	睦	中村 修一
松風第6	松原 由典	12区	高橋 圭二	新里	大友 晴雄
松風第7	山崎 信治	北区	武岡 弘己	ときわ	加藤 洋一
松風第8	河合 政明	西区	塩原 秀夫	湯地中央	中山 邦夫
松風第9	山本 守	南	新谷 信典	ふじ団地	太田 昇
2区	家村 研児	山の手	末村 修	みなみ中里	吉田 義人
3区共親会	石岡 浩一	桜丘	角田 伸慶	青葉	大西 琢也
4区共和会	仲井 之朗	松栄	八木橋義則	道栄	小川 隆

●自治会長

地区	会長	桜山	安達 康章	南角田	酒井 利彦
富士	藤本 宏一	杵臼	篠田 勝	円山	氏家 透
中里	林 公夫	旭台	藤島 利充	東山	日原めぐみ
湯地	寺 雅彦	共和	中榮 達哉	滝下	中川 廣美
森	橋本 慶子	三日月	水本 秀幸	角田連合町内会	住友 茂
鳩山	青木 剛克	阿野呂	工藤 正史	継立連合会	喜多村 茂廣
雨煙別	今村 慎一	大井分	橘 高博	日出連合町内会	佐藤 唱悦
緑丘	仁平 将太	南学田	岩崎 誠治	(敬称略)	
北学田	水上 一浩	御園	小暮 滝弘		

全道一斉に春の火災予防運動が行われます。
この時期は非常に空気が乾燥しやすく、ちょっとした不注意から火災につながります。
一人ひとりが火災予防の意識を持ち、尊い命や大切な財産を守りましょう。



試験

消防設備士試験

◆試験日 5月18日(日)

◆試験場所・種類

・札幌市 甲種(受験資格制限あり)、乙種(第1～7類)

◆料金

甲種 6600円
乙種 4400円

◆申込期間

4月3日(木)～10日(木)

【申込先・問い合わせ】

消防署 ☎0150

危険物取扱者試験

◆試験日

5月18日(日)

◆試験場所・種類

・岩見沢市 乙種(第1～6類)、丙種

◆料金

乙種 5300円
丙種 4200円

◆申込期間

4月3日(木)～10日(木)

【申込先・問い合わせ】

消防署 ☎0150

陸・海・空自衛官

○自衛官候補生採用

◆試験日(予定)

5月23日(金)～25日(日)のうち指定する一日

◆対象 18歳～33歳未満

◆申込期限 5月7日(水)

○自衛隊技術曹採用

◆試験日

・陸上 6月9日(月)

・海上 6月16日(月)

・航空 6月10日(火)～12日(木)

◆対象 20歳以上で資格、免許などの条件を満たす方

◆申込期限 5月16日(金)

【問い合わせ】

札幌地方協力本部

恵庭地域事務所

☎0123(34)5438

※個別説明会を随時受付中です。(土日祝日は要予約)

相談

無料法律相談

札幌弁護士会所属事務所による法律相談を行います。

◆日時(一人約30分程度)

4月18日(金)

午後1時～4時

◆場所 しやるる

◆定員(予約制) 6人

【申込先・問い合わせ】

社会福祉協議会

☎01322

こころの健康相談

こころの健康問題を抱えるご本人やご家族などを対象に、精神科医師による健康相談を実施します。

◆日時

偶数月の第3木曜日
午後1時～3時

◆場所 岩見沢保健所

【申込先・問い合わせ】

岩見沢保健所

健康推進課健康支援係

☎0126(20)0122

中小企業等資格取得支援事業

従業員の資格・免許の取得促進に取り組む事業者に対し、取得費用の一部を補助します。

【対象】 町内に事業所を有し1人以上の従業員を雇用する法人または個人事業主

【要件】 ◇町税などに滞納が無いこと
◇資格・免許取得費用の全額を事業者が負担していること
◇従業員は事業者が直接雇用し、町内の事業所で勤務する正社員であること
◇補助を受けた後も町内で事業を継続し、資格を取得した従業員を町内の事業所で継続して雇用する意思があること

【嫌難・難】 事業者が営む事業に直接必要と認められる国家資格、公的資格、民間資格

※令和7年2月1日から令和8年1月31日までに取得し、支払いが完了するもの

【対象経費】 講座・研修等の受講料、受験料、資格等の登録料

【補助額】 1事業者につき10万円上限(下限1万円)

【補助率】 対象経費の1/2

【申請期限】 令和8年2月2日(月)

免許、資格
取得を応援!



その他詳細、申し込みに必要な書類などは、町ホームページをご確認ください。 詳細はこちらから

【問い合わせ】 商工観光課商工・労働グループ ☎73-7516

教育委員会
「申込先・問い合わせ」
☎⑦1117

**栗山町文化振興基金
補助金事業募集**

町民や企業の方から寄せられた寄附金を文化振興のために積み立てている基金で、各種事業に補助を行います。

○地域文化振興事業
地域の文化振興や普及を図る事業（演劇、音楽、文芸、工芸、郷土芸能の鑑賞会、歴史・自然に関する学術研究発表など）

○郷土芸能等保存振興事業
郷土芸能の保存、継承などを図る事業

○芸術創造普及事業
芸術家などが行う芸術の創造普及を図る事業

◆**対象** 町内で活動する個人または団体

◆**補助金額** 対象経費の2分の1以内で、原則20万円を限度とします。

図書館
「申込先・問い合わせ」
☎⑦6055

**図書館夢十夜
「おとなのライブナイト」**

バンド「NASTY」によるアコースティックライブイベントを開催します。

◆**日時**
4月24日(木)
午後6時半～7時半
(開場午後6時)

※イス席は事前申込（先着40人）、立ちは申込不要です。

**子ども読書の日記念事業
おはなし会と理科実験体験**

「子ども読書の日記念事業」として、おはなし会と理科実験体験のイベントを実施します。理科実験体験は各回共通でスーパードール作りです。

◆**日時**
4月26日(土)
①午前10時40分～11時40分

スポーツセンター
「問い合わせ」
☎⑦6161

屋外施設オープン

公園球場、町民球場、運動公園、栗夢広場、改善センターテニスコートなどの屋外施設が一斉オープンします。

◆**オープン日** 4月29日(祝)
ふじスポーツ広場は5月17日(土)

※雪解けの影響で延期する場合があります。

②午後2時40分～3時40分

◆**対象** 中学生まで（小学4年生以下は要保護者同伴）

◆**料金** 無料

◆**定員** 各回25人（先着）

募集

**高齢者大学
いきいきスクール**

【期間】 5～11月（年間6回程度）

【内容】 バス研修、講演会、学校祭など

【対象】 60歳以上の町民

【申込方法】 各地区の老人クラブに配布した募集用紙からお申し込みください。
※老人クラブがない地域の方や老人クラブに加入されていない方は社会教育課へ申し込みください。

【申込期限】 4月15日(火)

【申込先・問い合わせ】 社会教育課 ☎72-1117

くりやまの「音」を届ける FM ラジオ

エフエムくりやま
周波数 FM **78.8** MHz

4月行政情報のお知らせ

週刊ラジオ広報くりやま

毎週月・水・金曜日 11:30～（15分間）

- 7・9・11日（環境生活課）
春の全国交通安全運動について
- 14・16・18日（福祉課）
子育て情報（スキップ）
- 21・23・25日（建設課）
栗山公園・なかよし動物園オープン
- 28・30・5月2日（定住推進課）
くりやまクリエイターズマーケット情報

栗山町役場からのお知らせ

毎週月～金曜日 朝・昼・夕（5分間）

①朝7:30～ ②昼12:30～ ③夕17:30～
※②、③は再放送

【問い合わせ】 商工観光課 ☎76-7787

教育委員会
「申込先・問い合わせ」
☎⑦1117

**栗山町文化振興基金
補助金事業募集**

町民や企業の方から寄せられた寄附金を文化振興のために積み立てている基金で、各種事業に補助を行います。

○地域文化振興事業
地域の文化振興や普及を図る事業（演劇、音楽、文芸、工芸、郷土芸能の鑑賞会、歴史・自然に関する学術研究発表など）

○郷土芸能等保存振興事業
郷土芸能の保存、継承などを図る事業

○芸術創造普及事業
芸術家などが行う芸術の創造普及を図る事業

◆**対象** 町内で活動する個人または団体

◆**補助金額** 対象経費の2分の1以内で、原則20万円を限度とします。

図書館
「申込先・問い合わせ」
☎⑦6055

**図書館夢十夜
「おとなのライブナイト」**

バンド「NASTY」によるアコースティックライブイベントを開催します。

◆**日時**
4月24日(木)
午後6時半～7時半
(開場午後6時)

※イス席は事前申込（先着40人）、立ちは申込不要です。

**子ども読書の日記念事業
おはなし会と理科実験体験**

「子ども読書の日記念事業」として、おはなし会と理科実験体験のイベントを実施します。理科実験体験は各回共通でスーパードール作りです。

◆**日時**
4月26日(土)
①午前10時40分～11時40分

**町内芸術家による
個展開催**

町内芸術家による個展を老舗まつりに合わせて開催します。作品販売も行います。

◆**日時**
4月12日(土)・13日(日)
午前10時～午後5時

◆**場所** カルチャープラザ

◆**内容**
木の工房るか 木彫展
古川世都生
霜月窯作品展 石川直子
千瓢彫展 中原篤

◆**入場料** 無料

**町民講座
くりやまアーク「自然」**

昨年の7月から行われ、5回目となる講座は映像を通して「自然環境」の変化、変遷を振り返ります。

◆**日時**
4月17日(木)
午後6時～7時半

◆**場所** オオムラサキ館

◆**講師** 栗山町文化財保護委員会 委員長 青木隆夫さん

◆**料金** 無料

◆**定員** 30人（先着）

◆**申込期限** 4月14日(月)

**学用品などの費用を
援助します**

経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対して、義務教育に必要な費用への援助を行います。

◆**対象** 町内に住所を有し、小・中学校に在籍または入学予定の児童生徒の保護者

◆**援助内容** 学用品費、通学用品費、郊外活動費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、体育実技用具費、修学旅行費、新入学学用品費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代など

◆**申込方法** 申請書に必要事項を記入し提出

※生活保護の被保護世帯の方は申請不要です。

◆**申込期限** 4月25日(金)

クリーンセンター
「問い合わせ」
☎③3200

**栗山ダムパークゴルフ
コースシーズン券販売**

◆**日時** 4月14日(月)～
午前9時～午後4時
(平日のみ)

◆**料金** 1万5710円

◆**持ち物** 身分証明書、顔写真（縦3cm横2.5cm）

◆**コースオープン日** 4月20日(日)

※雪解けの影響で延期する場合があります。

オオムラサキ館
「問い合わせ」
☎⑦3000

サケ稚魚の放流会

◆**日時** 4月5日(土)
午前10時～11時

◆**場所** 雨煙別小学校 コカ・コラー環境ハウス

◆**服装** 暖かい服装、長靴

◆**料金** 無料

両生類の卵塊調査

春のハサンベツ里山を散策しながら、カエルやサンショウウオを観察しませんか。

◆**日時** 4月13日(日)
午前9時～正午

◆**場所** ハサンベツ里山

◆**服装** 暖かい服装、長靴、軍手

◆**料金** 無料

**オオムラサキ館
観察飼育舎オープン**

オオムラサキ館の観察飼育舎（網舎）がオープンします。飼育舎では「キアゲハ」をはじめとしたアゲハ類や、オオムラサキの幼虫を観察できます。

41 広報くりやま 2025.4

2025.4 広報くりやま

40

戸籍のまど



Kuriyama town

3月15日届出分まで

おめでた (敬称略)

住所	氏名	月日	保護者名
松風4	近藤 葵 ^{あおい}	2/19	湧介・紗江

おくやみ (敬称略)

住所	氏名	年齢	月日	世帯主
旭台	菱谷小夜子	96	2/16	洋一
松風3	橋場 婦美	98	2/18	本人
角田	玉村 博明	93	2/21	本人
中央2	佐藤シズ子	88	2/23	久藏
松風2	佐藤 守弘	92	2/25	本人
中央1	吉岡久美子	75	2/27	且乗
中央1	鎌田 勲	96	3/2	本人
継立	三浦 喜子	93	3/6	本人
中央3	柳 幸則	76	3/7	本人
杵臼	西川 弘	82	3/14	満
中里	鎌田 尚幸	59	3/14	本人

【お詫び】3月号の内容(23㉔・おくやみ)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(誤) 山田 隆子 世帯主 本人
(正) 山田 隆子 世帯主 克巳

ご厚意

町へ	
金一封(教育寄附金)	長尾 康司さん(富士) 朝日産業株式会社(朝日4)
金一封(総務寄附金)	石川兄弟塗装株式会社(由仁町)
物 品	木村 哲郎さん(雨煙別) 梅沢 瞬さん(札幌)

くりのさとへ	
金一封	亀田 洋さん(由仁町)
泉徳苑・一草庵へ	
物 品	カインドネスシオミ薬品(松風3)

人のうごき

※2月28日現在、()内は前月比です。

人 口	10,619人	(-14)
男	4,968人	(-9)
女	5,651人	(-5)
世帯数	5,674世帯	(-6)

広告

いつでも
ラクラク!

2025.4.30まで!

ホクレン
灯油
WEB契約
キャンペーン

IZAカード
期間中WEBからの
新規ご契約で!

デジタルギフト
3,000円分プレゼント!

もれなく全額に
選べる!
Amazon・PayPay・nanaco

灯油定期配送のお申し込みは **コチラ** ⇨
<https://www.hokuren-ss.jp/kerosene/order/>

こちら 町長室



Vol.82

【行事】



栗山町議会定例会 3月定例会議



第77回栗山高校卒業式



第36回介護福祉学校卒業式



知内町と栗山町との
人材に関する包括連携協定締結



道央圏農業新技術発表会



森内キヨさんに百歳祝記念品贈呈



栗山建設協会創立70周年記念式典



道営農地整備事業継立地区竣工式

栗山新時代「躍進の時」 新年度スタート!

町民の皆さん、こんにちは。
春の暖かさが感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

栗山新時代の「躍進の時」と位置づける、**新年度がスタート**しました。
その**執行方針**において、これまで進めてきた取組をしっかりと軌道に乗せるとともに、「**賑わい躍動するまち**」「**心安らく暖かなまち**」「**輝く未来を育むまち**」「**魅力をつなぐまち**」「**みんなで創るまち**」という**5つの基本目標**を掲げ、10年後、20年後を見据えた**未来志向のまちづくり**を進めていくことを表明しました。

加速化する人口減少や少子高齢化への対応はもとより、小中学校適正配置の問題や南部地域の医療供給体制の確保、持続可能な除排雪体制の確立、減便・廃線が続く地域公共交通の確保、さらには地域活力の維持に向けた企業誘致の推進など、山積する**新たな町政課題の解決**に向け、全力で町政を進めてまいります。

寒さも和らぎ、春の日差しに包まれる中、次代のくりやまを担う若者たちが、あふれる夢と志を抱き、未来への一歩を踏み出されました。

3月1日に、**第77回北海道栗山高等学校の卒業式**に出席しました。

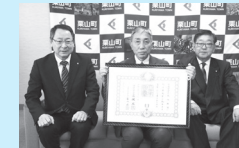
22人の卒業生は、新型コロナの世界的流行の真ただ中に入学され、様々な自粛・制限が強いられる中でも、仲間とともに、その未曾有の危機を乗り越えられ、卒業されました。

今年の卒業生の進路状況は、**進学が12人、就職その他が10人**となっており、それぞれ新たなステージへと歩みを進められました。

【来客】



地域おこし協力隊を
退任する西村さやかさん



故 木内勲雄さんの特別
叙伝式(木内学さん)



高橋はるみ参議院議員



道新栗山支局の丸山格史
新支局長



ピアノコンクールの全国大会に出
場された笹浪真悠さん(栗山小4
年)、笹浪大輝さん(栗山小4年)、
木本純鈴さん(6歳)



石川兄弟塗装株式会社の
石川裕次郎代表取締役

3月8日には、**第36回栗山町立北海道介護福祉学校の卒業式**に出席しました。

第36期生**19人の卒業生**は、次代の介護福祉を担うという高い志を抱き、2年間で2,128時間にわたる教育課程を修められ、「**専門士**」の称号を得て、全員無事、卒業されました。

今回の卒業生の中には、現在、町が進めている「**介護人材の確保に関する包括連携事業**」に基づく、**自治体推薦第1号**の方も含まれており、本町での学びを終え、出身地・安平町の特別養護老人ホームに就職されます。

栗山高校・介護福祉学校を卒業された皆さん、自分自身の信じる道を力強く切り拓いていかれますことを期待いたします。皆さんの活躍を、まち挙げて応援しています。

4月から、新人職員13人が役場に入りました。町民の皆さん、ご指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。

今後も、**職員と一丸**となって、**町政推進**にあたってまいりますので、なお一層のご支援とお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

栗山町長 佐々木 学

【今月の主な動向】※変更の場合もあります。

4月1日(火)	職員辞令交付・新年度町長挨拶
	農業振興公社辞令交付式
	地域おこし協力隊委嘱状交付式
4月3日(木)	南空知南部介護認定審査会総会
4月4日(金)	STV ラジオ収録
4月5日(土)	第38回介護福祉学校入学式
4月7日(月)	新入学児童防犯ブザー配布
4月8日(火)	くりやまハーフマラソン実行委員会
4月12日(土)~13日(日)	くりやま老舗まつり ふるさと田舎まつり 2025
4月15日(火)	栗山町身体障害者協会令和7年度総会
4月16日(水)	空知町村会令和7年度定期総会
4月18日(金)	栗山消防団幹部歓迎会
4月19日(土)	くりやま手話の会定期総会 夕張市石炭博物館模擬坑道再開記念式典
4月21日(月)	治山林道協会理事会
4月22日(火)	北海道補助ダム促進協会総会
	北海道道路整備促進協会通常総会
	北海道治水砂防海岸事業促進同盟通常総会
	北海道防災協会通常総会
4月23日(水)	北海道道路利用者会議定期総会 栗山町農業再生協議会総会
4月23日(木)~5月2日(金)	春のまちづくり懇談会
4月24日(木)	北海道町村会定期総会 栗山町交通安全協会総会
4月25日(金)	栗山消費者協会総会
	北海道消防協会空知地方支部第1回総会懇談会

▼皆さんお久しぶりです!9か月間の育児休暇を終え、3月から復帰しました・・・が、人事異動で広報担当を卒業することになりました。取材を通じて、町の皆さんの素敵な笑顔が、とても楽しく、貴重な時間でした。また、昨年の広報コンクールで特選を受賞した際には、皆さんの喜びの声や温かい言葉のおかげで、大変うれしく思いました。あつという間の4年間でしたが、多くの方と交流は私にとって大きな財産です。4月からは商工観光課に所属しますので、今度はイベントやお祭りの場で皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。今まで本当にありがとうございました! (伊藤)

▼3月は町内の学校で卒業式が行われました。卒業生の皆さんは、緊張した様子を見せながらもしっかりと卒業証書を受け取っていました。また、小学校の卒業式では卒業生と在校生がお互いに呼びかけを行うなど笑顔と涙があふれる時間でした。式典後の最後のホームルームでは、先生に花束やプレゼントを渡し感謝を伝える場面も見られました。卒業式の様子は、22~23ページに掲載しておりますのでご覧ください。(河津)

編集担当者の
ひとりごと



ふるさと栗山で輝くヒトをクローズアップ

きらり☆栗山人

小林酒造株式会社 本田 壮さん



日本酒のイメージを変えるため、蔵元の息づかいを伝える

一度だけの人生と
自衛隊から転職を決める

本田さんは札幌市出身。北海道最古の酒蔵「小林酒造」で、酒蔵を訪れる見学者を案内する広報業務を担当しています。

「人の役に立ちたい」という思いで自衛隊に入隊しましたが、30歳を境に「一度の人生だから新たな挑戦をしたい」と転職を決意。挑戦先を探していたところ、企業説明会に参加していた小林酒造と出会います。

採用担当者からの熱心な説明を受け、従来持っていた日本酒のイメージが覆ることになり「もっと知りたい」という知的好奇心が、入社を後押しすることになりました。

コロナ禍を乗り越える
広報の考えも変化

令和2年、新型コロナウイルスの猛威が日本酒の製造現場にも襲い掛かります。販売先である飲食店への供給がストップし、貯蔵タンクに残る大量の日本酒を前にして、途方に暮れる日もあったと言います。

「なんとか目の前にある日本

酒を販売しなきゃいけないと思い、従業員全員で知恵を絞りました」と本田さん。家飲み用やオンライン販売に力を入れたり、あの手この手を駆使して危機を乗り越えました。

お酒だけではなく、私たちの酒蔵の歴史や文化も見て、日本酒の良いところを感じてもらいたい」と、コロナ禍を経て考え方も変化します。見学者にどう楽しんでもらおうかと試行錯誤を重ねる姿から、明治から続く蔵元の息づかいを感じ取ることが出来ます。



見学に訪れた北海道大学の学生たちに発酵タンクの様子を見せる本田さん



紹介しきれない内容は、栗山町公式note「くりやまのおと」に掲載

